

平成23年度 業務実績報告書

平成24年6月

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院

I 法人の概要

1 法人の現況

(1) 法人名称

地方独立行政法人 岐阜県立下呂温泉病院

(2) 所在地

岐阜県下呂市幸田 1 1 6 2

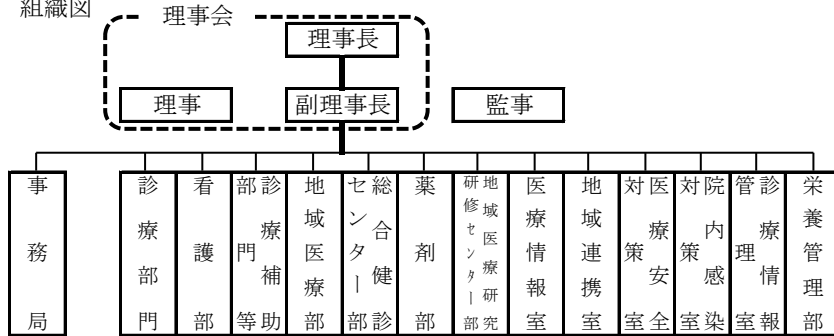
(3) 設立年月日

平成 2 2 年 4 月 1 日

(4) 役員の状況

役員名	区分	氏名
理事長	常勤	山森 積雄
副理事長	常勤	鈴木 康
理事	非常勤	近藤 靖士
理事	常勤	小谷 美重子
理事	常勤	藤枝 紀夫
監事	非常勤	大岡 琢美
監事	非常勤	所 直好

(5) 組織図



(6) 職員数 (平成23年4月1日現在)

職種	常勤	非常勤	計
医師	25 名	1 名	26 名
看護師	195 名	26 名	221 名
コメディカル	51 名	3 名	54 名
事務ほか	30 名	37 名	67 名
計	301 名	67 名	368 名

2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

岐阜県立下呂温泉病院においては、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上、住民の健康と福祉の増進に取り組んできた。

しかし、少子・高齢化の進展、医療技術の高度化・専門化、疾病構造の変化、医療需要の高度化・多様化などにより、近年の医療を取り巻く環境は大きく変化している。

特に、産科・小児科の医師不足、手厚い看護体制の導入に起因する看護師不足、診療報酬のマイナス改定等、医療、病院経営を取り巻く状況は一段と厳しさを増している。

一方、県民の健康への関心はきわめて高く、今後、これまで以上に、質の高い医療サービスを求められることが十分に予想される。

これからも、岐阜県立下呂温泉病院として、このような、医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応し、県民が必要とする医療をより良くかつ継続的に提供することができるように、地方独立行政法人に移行することとし、この中期目標において、地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院（以下「法人」という。）の業務運営の目標や方向性を示すこととする。

地方独立行政法人化後は、地方独立行政法人制度の特徴を十分に活かした、自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、飛騨地域の中核病院として、都市部の病院と同様に、県民が必要とする安全・安心・良質な医療を提供するとともに、地域の医療施設との間で病診連携を推進することで、飛騨地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

新病院建設にあたっては、岐阜県立下呂温泉病院が担うべき機能の強化を図るとともに、診療機能に相応しい施設内容（規模、建設単価等）、財源や建替え手法など、建設に必要な検討を十分行ったうえ建設を進めること。

○強化すべき岐阜県立下呂温泉病院の機能

- ・地域医療の教育・研究機能（地域医療研究研修センターの機能）
- ・へき地医療の提供・支援機能
- ・高度急性期医療の提供機能
- ・地域災害医療の提供機能
- ・終末期医療（入院・在宅）の提供機能
- ・医療従事者の確保機能
- ・地域医療機関等との連携機能

3 設置する病院の概要

(1) 病院名称

岐阜県立下呂温泉病院

(2) 所在地

岐阜県下呂市幸田1162

(3) 沿革

昭和28年 7月 1日 岐阜県立下呂病院 開設

昭和35年 7月 1日 名称変更「岐阜県立下呂温泉病院」

(4) その他

主 な 役 割 及 び 機 能	<input type="radio"/> へき地中核病院 <input type="radio"/> へき地医療拠点病院 <input type="radio"/> 救急告示病院 <input type="radio"/> 病院群輪番制病院 <input type="radio"/> 臨床研修指定病院
診 療 科	内科、腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、 漢方内科、内分泌内科、小児科、外科、消化器外科、 乳腺外科、整形外科、脳神経外科、胸部外科、 心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、 耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、 歯科口腔外科、病理診断科、臨床検査科、救急科
許 可 病 床 数	一般病床 325床 (平成24年4月1日より255床)
看 護 体 制	7対1
年 間 延 患 者 数 (H23実績)	入 院 61,168人
	外 来 82,152人
建 物 面 積	17,682 m ²
理 念	地域の中核病院「へき地医療の拠点病院」として“生活の場の 医療”を県立病院の立場から創設し、地域住民及び県民から信頼 され、必要とされる病院づくりを目指します。

Ⅱ 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組の状況

1-1 診療事業

多様な手段の積極的活用による医師確保の取り組みや、資格取得の促進・専門研修参加への支援、医療安全・院内感染防止対策の確立などにより、飛騨地域の基幹病院として必要な

- ・医療従事者の資質向上
- ・患者サービス、院内環境の快適性向上
- ・診療体制の充実
- ・へき地医療の拠点機能の充実

を図り、急性期医療・政策医療など地域県民が必要とする医療の提供に努めた。

また、救急医療体制の充実を図るため、「16列型マルチスライスX線CT装置」の更新整備を行った。

1-2 調査研究事業

調査研究の推進、診療等で得られた情報の活用や保健医療情報の発信のため

- ・下呂温泉病院年報の発行と関係機関への配布
- ・糖尿病教室やマタニティエクササイズなどの公開教室の開催
- ・病院広報誌による保健医療情報の提供

を行い、県民の健康意識の向上に努めた。

1-3 教育研修事業

平成22年度の臨床研修医1名の受入れに引き続き、平成23年度においても新たに1名の臨床研修医を受入れ、基幹型の臨床研修病院として初期臨床研修（1年目：1名、2年目：1名）を実施した。また、岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センターの臨床研修医の研修協力施設として、「地域医療研修（1ヶ月）」の受け入れを行い、医師の養成に努めた。

さらに、下呂看護専門学校看護学生や下呂市消防本部の救命救急士などの地域医療従事者の実習受け入れを行い、教育・研修の充実を図った。

1-4 地域支援事業

地域医療機関への支援として、

- ・下呂市立小坂診療所、東白川村国保診療所等への医師の出向による人的支援
- ・地域開業医等の当院医療機器の共同利用の推進

を行った。
また、社会的要請に対して、講師派遣の協力等により地域支援に努めた。

1-5 災害発生時における医療救護

医療救護活動の拠点機能を担うため、災害発生時に備えて体制の整備、訓練への参加を行った。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組の状況

人員の弾力的配置と地方独立行政法人のメリットを活かした人材確保により、7：1看護体制の確保を図った。

また、経営効率の高い業務執行体制の確立のため、職員と管理者との意見交換会開催による風通しの良い組織運営と、経営情報の共有による職員の経営意識の向上を図り、業務運営の見直しや効率化・費用節減の徹底などによる収支改善に努めた。

3 予算、収支計画及び資金計画（財務内容の改善に関する事項）の状況

医師不足・患者数の減少により、医業収益の確保が非常に困難な状態が依然として続いているが、費用節減の対策を更に推進したことにより、収支計画の総利益▲322百万円に対し決算では▲294百万円、計画対比で28百万円の赤字額減少となり、経常収支比率は収支計画93.3%に対し決算93.5%で年度計画を達成することができた。

職員給与費対医業収益比率については、人件費コストに見合う医業収益が確保されていないことから、収支計画72.6%に対し決算74.4%となり収支計画の比率を下回ることとなった。

来期以降も中期計画で定める経常収支比率100%以上、職員給与費対医業収益比率60%以下を目指し、継続して経営努力を行っていく。

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項の状況

就労環境の向上

職員の就労環境の向上のため、院内保育所の体制強化、人間ドック事業・定期健診の院内実施・健康管理セミナー開催などの健康管理対策を実施した。

医療機器整備

国庫補助金を活用し、「大動脈バルーンポンプ」「透析用患者監視装置」の整備を行い、地域医療の充実を図った。

新病院建設の施設整備

新病院の施設整備計画に基づき、平成23年度分の事業として実施設計、医療機器等整備支援コンサルティング業務の委託を実施。新病院建設工事の発注に向け手続きを進めた。

Ⅲ 小項目別自己評価結果一覧表

大項目	中項目	小項目	項目連番	自己評価	検証結果	
1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組	1-1 診療事業	1-1-1 より質の高い医療の提供	(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備	01	Ⅲ	
			(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備	02	Ⅲ	
			・地域医療を志す医師の養成			
			・定年を迎えた医師の再雇用			
			・メディアの積極的活用による医師の公募			
			・非常勤医師の活用			
			(3) 教育実習等による優れた医師の養成	03	Ⅲ	
			(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進	04	Ⅲ	
	(5) コメディカルに対する専門研修の実施	05	Ⅲ			
	(6) EBMの推進	06	Ⅲ			
	(7) 医療安全対策の充実	07	Ⅲ			
	(8) 院内感染発生原因究明・防止対策体制整備	08	Ⅲ			
	1-1-2 患者・住民サービスの向上	(1) 待ち時間の改善等	09	Ⅲ		
		(2) 院内環境の快適性向上	10	Ⅲ		
		(3) 医療情報に関する相談体制の整備	11	Ⅲ		
		(4) 患者中心の医療の提供	12	Ⅲ		
		(5) インフォームド・コンセント・サトウ・セト・ニシの徹底	13	Ⅲ		
		(6) 満足度調査の病院運営への反映	14	Ⅲ		
	1-1-3 診療体制の充実	(1) 医療需要変化に即した診療体制の整備・充実	15	Ⅲ		
(2) 多様な専門職の積極的な活用		16	Ⅲ			
1-1-4 近隣の医療機関との役割分担・連携	(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上	17	Ⅲ			
	(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及	18	Ⅲ			
	(3) 地域の介護・福祉機関との連携強化	19	Ⅲ			

大項目	中項目	小項目	項目連番	自己評価	検証結果	
		1-1-5 重点的に取り組む医療	(1) へき地医療の拠点機能の充実	20	Ⅲ	
			(2) 急性期医療の機能強化	21	Ⅲ	
	1-2 調査研究事業	1-2-1 調査・臨床研究等推進	(1) 治験受託件数の増加、大学等の研究機関との共同研究の推進	22	Ⅲ	
			(1) 医療総合情報システムの各種データの有効活用	23	Ⅲ	
				(2) 集積したエビデンスの活用	24	Ⅲ
	1-2-3 保健医療情報の提供	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催	25	Ⅲ		
		(2) 保健医療、健康管理等の情報提供	26	Ⅲ		
	1-3 教育研修事業	1-3-1 卒後臨床研修等の充実	(1) 地域医療を目指す医師の養成	27	Ⅲ	
			(2) 臨床研修医の県内定着化の促進	28	Ⅲ	
	1-3-2 看護学生、救命救急士等教育	(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ	29	Ⅲ		
		(2) 救命救急士の病院実習など地域医療従事者への研修実施及び充実	30	Ⅲ		
	1-4 地域支援事業	1-4-1 地域医療への支援	(1) 地域医療水準の向上	31	Ⅲ	
			(2) 医師不足・へき地医療機関への人的支援	32	Ⅲ	
			(3) へき地拠点病院としての地域医療支援	33	Ⅲ	
		1-4-2 社会的な要請への協力	34	Ⅲ		
1-5 災害発生時の医療救護	1-5-1 医療救護活動の拠点機能	35	Ⅲ			

大項目	中項目	小項目	項目連番	自己評価	検証結果		
2 た業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成する	2-1 効率的な業務運営体制の確立	2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築	36	III		
			(2) 各種業務のIT化の推進	37	III		
			(3) アウトソーシング導入による合理化	38	II		
			(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立	39	III		
		2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用	(1) 弾力的運用の実施	40	III		
			(2) 効果的な体制による医療の提供	41	III		
			(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置	42	III		
		2-1-3	人事評価システムの構築	43	III		
		2-1-4	事務部門の専門性の向上	44	III		
		2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善	2-2-1 多様な契約手法の導入		45	III	
	2-2-2 収入の確保			(1) 効率的な病床管理、医療機器の効果的な活用	46	III	
				(2) 未収金の発生防止対策	47	III	
	2-2-3 費用の削減		(3) 施設基準の取得	48	III		
			(1) 在庫管理の徹底	49	III		
(2) 経営意識の向上		50	III				
		(3) 内部牽制機能の強化	51	III			
3	予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画		52	II			
4	短期借入金の限度額		53	-			
5	重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようするときはその計画		54	-			
6	剰余金の使途		55	-			

大項目	中項目	小項目	項目連番	自己評価	検証結果
8 業務運営に関する事項	8-1 職員の就労環境の向上	(1) 医療従事者の負担軽減	56	III	
		(2) 健康管理対策	57	III	
	8-2	県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	58	III	
	8-3 医療機器・施設整備に関する事項	(1) 医療機器の計画的な更新・整備	59	III	
		(2) 新病院建設の施設整備計画	60	III	
	8-4	法人が負担する債務の償還に関する事項	61	III	

IV 項目別の状況

- 1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
 1-1 診療事業
 1-1-1 より質の高い医療の提供

中期目標

3 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する事項
 3-1 診療事業
 飛騨地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。
 3-1-1 より質の高い医療の提供
 法人が有する医師、看護師、コメディカルや、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。
 特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保等に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。
 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの導入促進に努めること。
 さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるように、医療安全対策を徹底すること。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																		
01	(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備 高度専門医療等の水準を維持・向上させるため、中期目標の期間における更新及び整備計画を策定し、高度医療機器の計画的な更新・整備を進める。医療機器の整備及び更新に当たっては、稼働率や収支の予測を十分に行った上で進めるとともに、リース等を含めた最適な導入形態を検討する。	III				(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備 高度専門医療等の水準を維持・向上させるため、中期目標の期間における更新及び整備計画を策定し、高度医療機器の計画的な更新・整備を進める。 医療機器の整備及び更新に当たっては、稼働率や収支の予測を十分に行った上で進めるとともに、リース等を含めた最適な導入形態を検討する。	高額医療機器の更新実績 ○南飛騨地域における救急医療の基幹病院として急性期医療の診断等に活用するため、16列型マルチスライスX線CT装置を更新した。 ◆購入価格 20,916千円 ◆更新時期 平成24年2月 ◆急性期医療における重要な診断機器として活用するほか、低被ばくCT肺癌検診での活用を見込んでいる。	III																				
							主な検査機器の稼働実績件数																					
							<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目・年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">MR(1台)</td> <td style="text-align: center;">入院</td> <td style="text-align: center;">706</td> <td style="text-align: center;">735</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">外来</td> <td style="text-align: center;">2,492</td> <td style="text-align: center;">2,444</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">CT(2台)</td> <td style="text-align: center;">入院</td> <td style="text-align: center;">2,332</td> <td style="text-align: center;">1,878</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">外来</td> <td style="text-align: center;">6,529</td> <td style="text-align: center;">6,457</td> </tr> </tbody> </table>		項目・年度		22年度	23年度	MR(1台)	入院	706	735	外来	2,492	2,444	CT(2台)	入院	2,332	1,878	外来	6,529	6,457		
項目・年度		22年度	23年度																									
MR(1台)	入院	706	735																									
	外来	2,492	2,444																									
CT(2台)	入院	2,332	1,878																									
	外来	6,529	6,457																									

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項				
02	<p>(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 より質の高い医療を安定的に提供するため、医師・看護師職員をはじめとする医療職の必要数確保及び定着を図る。特に医師の勤務条件を緩和するため、医師確保と医師定着化の対策を実施する。 ・下呂温泉病院勤務医師や岐阜大学地域医療医学センター医師等が地域の教育研究を実践する場として設置した地域医療研究研修センターにおいて、地域医療を志す医師の養成</p> <p>・定年を迎えた医師のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる者の再雇用</p> <p>・インターネットや医学専門誌などのメディアの積極的活用による医師の公募</p> <p>・県民ニーズに柔軟かつ迅速に対応できるよう非常勤医師の活用</p>	III				<p>(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 より質の高い医療を安定的に提供するため、医師・看護師職員をはじめとする医療職の必要数確保及び定着を図る。特に医師の勤務条件を緩和するため、医師確保と医師定着化の対策を実施する。 ・下呂温泉病院勤務医師や岐阜大学地域医療医学センター医師等が地域の教育研究を実践する場として設置した地域医療研究研修センターにおいて、地域医療を志す医師の養成 ・優秀な医師を確保するため、医師の給与面での優遇措置 ・岐阜県及び圏域市町村と連携した医師確保に向けた様々な取り組み</p> <p>・定年を迎えた医師のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる者の再雇用</p> <p>・インターネットや医学専門誌などのメディアの積極的活用による医師の公募</p> <p>・県民ニーズに柔軟かつ迅速に対応できるよう非常勤医師の活用</p>	<p>平成23年度は年俸制の雇用制度を構築。県及び下呂市と連携して医師確保活動を行い年俸制による医師2人を採用し、医師の必要数確保を図った。</p> <p>平成22年度に定年を迎えた病理医師を再雇用したが、平成23年度も引き続き雇用し、病理診断部門の体制維持を図った。</p> <p>・医師募集エージェントへの登録（インターネットの活用） 4社に募集情報を登録 ・専門求人情報誌への広告掲載1誌 ・医療専門の人材派遣事業者への登録など幅広く医師確保活動を実施した。 面接実施 2名 採用（平成24年4月）1名</p> <p>非常勤医師による常勤医不在の診療科（小児科、耳鼻いんこう科、皮膚科、眼科）及び常勤医不足の診療科への支援により、地域県民ニーズに対応した医療の確保を図った。 診療依頼延べ回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,689 回</td> <td>2,077 回</td> </tr> </tbody> </table>	22年度	23年度	1,689 回	2,077 回	III		
22年度	23年度													
1,689 回	2,077 回													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項															
	・看護師負担の軽減とともに高い患者サービスも可能な、7対1看護体制維持に必要な看護師数の確保					・看護師負担の軽減とともに高い患者サービスも可能な、7対1看護体制維持に必要な看護師数の確保	法人化のメリットである弾力的な職員採用を最大限に行い、H23年度中に【正職員】助産師1名、看護師11名(うち2名中途採用)【非常勤】看護師4名、准看護師1名を採用し、7対1看護体制の維持に必要な看護師を確保した。																		
03	(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の実習による優れた医師の養成 岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等の連携により多くの臨床研修医の受け入れと指導体制の充実を図り、特に地域医療を志す医師の養成を行う。	III				(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の実習による優れた医師の養成 岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等の連携により多くの臨床研修医の受け入れと指導体制の充実を図り、特に地域医療を志す医師の養成を行う。	協力型の臨床研修病院として、臨床研修プログラムで設定されている「地域医療研修(1ヶ月)」について他病院の臨床研修医の受け入れを行った。 ・受入状況	III																	
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜大学医学部附属病院</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>県総合医療センター</td> <td>4名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>岐阜市民病院</td> <td>2名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9名</td> <td>11名</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	22年度	23年度	岐阜大学医学部附属病院	3名	3名	県総合医療センター	4名	4名	岐阜市民病院	2名	4名	計	9名	11名			
病院名	22年度	23年度																							
岐阜大学医学部附属病院	3名	3名																							
県総合医療センター	4名	4名																							
岐阜市民病院	2名	4名																							
計	9名	11名																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																								
04	(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進 患者及びその家族に接する機会が多い看護職の専門性の向上及び水準の高い看護を提供するため、認定看護師及び専門看護師の資格取得を促進する。					(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進 患者及びその家族に接する機会が多い看護職の専門性の向上及び水準の高い看護を提供するため、認定看護師及び専門看護師の資格取得を促進する。 今後は、緩和ケアや摂食、嚥下障害看護の認定看護師取得を目指し、平成23年度に受験予定である。 また、23年度は看護教員養成講習会が県内で開催されるため、看護師教育とより連携するために参加させる。	<ul style="list-style-type: none"> ◆認定看護師 <ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中リハビリテーション認定看護師の資格取得 1名 ・H24緩和ケア認定看護師の教育課程入学試験を受験、入学決定1名。 ◆看護教員養成講習会 1名参加 (6月9日から3月8日まで) ◆その他の専門研修参加 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症患者の看護 4名 ・家族ケア 3名 ・がん性疼痛緩和ケア 3名 ・災害看護 5名 ・呼吸ケア 4名 ・周産期医療と看護 1名 ・糖尿病看護 1名 ◆今後の予定 臨床指導者講習会参加と緩和ケア認定看護師資格取得を目指す。 <p>認定看護師数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>皮膚排泄ケア</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリテーション</td> <td></td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2名</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table>	分野	22年度	23年度	皮膚排泄ケア	1名	1名	感染管理	1名	1名	脳卒中リハビリテーション		1名	計	2名	3名	III											
分野	22年度	23年度																																
皮膚排泄ケア	1名	1名																																
感染管理	1名	1名																																
脳卒中リハビリテーション		1名																																
計	2名	3名																																
05	(5) コメディカルに対する専門研修の実施 薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の技術職について、研修等を充実し、専門技能の向上を図る。					(5) コメディカルに対する専門研修の実施 薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の技術職について、研修等を充実し、専門技能の向上を図る。	<p>コメディカルの研修会、学会への参加に対して経費的支援を行い、専門技術・技能の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆コメディカルの研修会・学会参加人数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>2名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>10名</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>8名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td></td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>10名</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>1名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>31名</td> <td>57名</td> </tr> </tbody> </table>	職種	22年度	23年度	薬剤師	2名	4名	検査技師	10名	21名	臨床工学技士	8名	5名	放射線技師		15名	リハビリ技師	10名	9名	管理栄養士	1名	3名	計	31名	57名	III		
職種	22年度	23年度																																
薬剤師	2名	4名																																
検査技師	10名	21名																																
臨床工学技士	8名	5名																																
放射線技師		15名																																
リハビリ技師	10名	9名																																
管理栄養士	1名	3名																																
計	31名	57名																																

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
06	<p>(6) EBMの推進 学会の診療ガイドライン等に基づいたクリニカルパス（入院患者に対する治療の計画を示した日程表）を作成し、クリニカルパスの積極的な活用に取り組むとともに、バリエーション分析（設定した目標に対して逸脱した事項の分析）等を行うことにより、医療の質の改善、向上及び標準化を図り、科学的根拠に基づいた医療（EBM：Evidence Based Medicine）を提供する。</p> <p>また、電子カルテを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、クリニカルパスの電子化や診療支援及び安全管理への活用を図り、医療水準の向上及び診療内容の標準化を進める。</p>					<p>(6) EBMの推進 学会の診療ガイドライン等に基づいたクリニカルパス（入院患者に対する治療の計画を示した日程表）積極的な活用に取り組むことにより、医療の質の改善、向上及び標準化を図り、科学的根拠に基づいた医療（EBM：Evidence Based Medicine）を提供する。</p> <p>また、電子カルテを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、医療水準の向上及び診療内容の標準化を進める。</p>	<p>高齢の入院患者の割合が高いことなど、クリニカルパスの作成・適用が難しい現状においても、パスの活用に取り組んだ。</p> <p>◆整形外科領域 完成したパス：9件 現在は適用されていないが、今後活用の取組を行っていく。</p> <p>◆産婦人科領域 パス作成数：13件 ほぼ100%適用 H24年1月の産婦人科再開により新しい産婦人科医師のもと診療が開始され、パス内容の確認、変更を行い改善を図った。</p> <p>◆新生児領域 パス作成数：外来1件、入院10件 ほぼ100%適用</p> <p>また、電子カルテ運用においては、診療の標準化を図るためのシステム設定を必要に応じ実施し、医療情報システムの有効活用に努めた。</p>	III		
07	<p>(7) 医療安全対策の充実 ○チーム医療の推進 あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、内科系医師・外科系医師・看護師などの構成員によるチーム医療をより一層推進する。</p>					<p>(7) 医療安全対策の充実 ○チーム医療の推進 あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、内科系医師・外科系医師・看護師などの構成員によるチーム医療をより一層推進する。</p>	<p>○チーム医療の推進 医療安全管理委員会：12回開催 医療安全対策室会議：12回開催 医療安全対策室小会議：36回開催 医療安全推進担当者会議：6回開催 看護事故防止委員会：11回開催 褥瘡対策委員会：11回開催 看護部スキンケア委員会：12回開催 その他、インシデント・アクシデント発生時の対応など医療安全対策室専従看護師が必要により、各部門との情報収集・意見交換、連絡・調整・相談などを日々実施した。</p>	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																					
	<p>○インシデント・アクシデント報告の分析及び改善方策の共有化</p> <p>院内の医療安全対策室において、医療総合情報システムを活用し、インシデント及びアクシデントに関する情報の収集及び分析に努め、リスクを回避する方策の立案や、対策実施後の評価等を定期的に討議し、医療事故の再発防止及び予防の徹底を図る。</p> <p>また、分析結果及び改善方策について、医療総合情報システムにより情報の共有化を図る。</p>					<p>○インシデント・アクシデント報告の分析及び改善方策の共有化</p> <p>院内の医療安全対策室において、医療総合情報システムを活用し、インシデント及びアクシデントに関する情報の収集及び分析に努め、リスクを回避する方策の立案や、対策実施後の評価等を定期的に討議し、医療事故の再発防止及び予防の徹底を図る。</p> <p>また、分析結果及び改善方策について、医療総合情報システムにより情報の共有化を図る。</p>	<p>○インシデント・アクシデント報告の分析及び改善方策の共有化</p> <p>◆リスクマネジメントシステム</p> <p>SafeProducerを利用し、毎月のインシデント・アクシデントのまとめとインシデントレベル2及び3（事故報告書）について各会議にて分析・検討し対策立案を行った。</p> <p>・医療安全管理委員会で報告・検討した事例</p> <table border="1"> <tr> <td>インシデントレベル3</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>苦情に対する関与その他</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>対策を検討し承認した事項</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>インシデント・アクシデント以外の検討事項</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>医療安全管理マニュアルの見直し整備</td> <td>3件</td> </tr> </table> <p>決定事項の遵守状況については、医療安全対策室専従看護師（医療安全管理者）が各部門をラウンド・電子カルテの確認を行い報告した。</p> <p>・「医療安全対策室便り」の発行</p> <p>決定事項について周知徹底するため、「医療安全対策室便り」を24回発行。</p> <p>・インシデント・アクシデント件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>896 件</td> <td>929 件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>7 件</td> <td>10 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>903 件</td> <td>939 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各メディアの活用：日本医療機能評価機構・PMDA・週間医学会新聞・NK S J・看護協会等から、医療安全情報を収集し、サイボウズ（院内グループウェア）を利用し職員に周知した。</p> <p>医療安全対策室便りの発行数： 24回 各メディアからの医療安全情報：10回 その他必要時、サイボウズの掲示板にコメントを掲載した。</p>	インシデントレベル3	10件	苦情に対する関与その他	7件	対策を検討し承認した事項	11件	インシデント・アクシデント以外の検討事項	10件	医療安全管理マニュアルの見直し整備	3件	区分	22年度	23年度	インシデント	896 件	929 件	アクシデント	7 件	10 件	計	903 件	939 件		
インシデントレベル3	10件																														
苦情に対する関与その他	7件																														
対策を検討し承認した事項	11件																														
インシデント・アクシデント以外の検討事項	10件																														
医療安全管理マニュアルの見直し整備	3件																														
区分	22年度	23年度																													
インシデント	896 件	929 件																													
アクシデント	7 件	10 件																													
計	903 件	939 件																													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	○安全管理に関する研修体制の充実 全職員が患者の安全を最優先にして万全 な対応を行うことができるように、情報 の収集・分析による医療安全対策の徹底 及び医療安全文化の醸成など安全管理に 関する研修体制を整備する。					○安全管理に関する研修体制の充実 全職員が患者の安全を最優先にして万全 な対応を行うことができるように、情報 の収集・分析による医療安全対策の徹底 及び医療安全文化の醸成など安全管理に 関する研修体制を整備する。 平成23年度も院内全職員を対象にした 医療安全推進大会を実施する。	○医療安全管理に関する研修体制の充実 医療安全全職員研修会： 3回 定期的研修会： 10回 インシデント・アクシデントより 臨時研修会： 4回 新人・看護補助者対象研修会 6回 BLS研修会： 3回 医療ガス安全講習会 2回			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
08	<p>(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備 院内に複数の医療職から構成する院内感染対策室を設置し、職員に対する院内防止対策(マニュアル)の周知徹底・啓発を行うとともに、定期的に感染対策委員会を開催し、感染の状況や感染対策活動の評価等を行う。 また、重大な院内感染が発生した場合には、医療事故と同様に、原因の分析・再発防止策の立案と県民に対する適正な情報提供に努める。</p>					<p>(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備 院内に複数の医療職から構成する院内感染対策室を設置し、職員に対する院内防止対策(マニュアル)の周知徹底・啓発を行うとともに、定期的に感染対策委員会を開催し、感染の状況や感染対策活動の評価等を行う。 また、重大な院内感染が発生した場合には、医療事故と同様に、原因の分析・再発防止策の立案と県民に対する適正な情報提供に努める。 平成23年度も引き続き、抗生剤の適正使用について及び全職種間での手指衛生の徹底について、重点的に取り組む。</p>	<p>○感染防止技術の推進 ・院内感染防止マニュアルの改訂 標準予防策と感染経路別予防策マニュアルを改訂した。 ○感染管理教育 ・新任看護師研修(年4回、対象12名) ・看護補助職員研修(年4回、対象26名) ・全体研修(5/17:102名、3/11:57名) ・各部署研修(随時) ・NEWSレターなどによる情報発信 「感染対策室NEWS」6回発行、インフルエンザ情報を院内グループウェアで配信した。 ○職業感染対策 職員ワクチン接種プログラムに基づきワクチン接種を実施した。 ・HBワクチン接種 ・小児科ウィルスワクチン接種 ・インフルエンザワクチン接種 ○院内ラウンド(巡視) 定期的ラウンドのほか、感染経路別予防策のためのチェックラウンドを実施した。 ○環境清掃強化 胃腸炎流行期に環境清掃の強化として清掃業者によるトイレ周辺環境と手すり、ドアノブの次亜塩素酸ナトリウム消毒を実施。 ○感染状況、対策活動評価を行う「感染対策委員会」を定期(月1回)開催、感染防止対策の体制整備を図った。</p>			

1-1-2 患者・住民サービスの向上

中期目標

3-1-2 患者・住民サービスの向上

来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の整備、医療情報に関する相談体制の整備・充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。
また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れる仕組みを作り、患者・住民サービスの向上を図ること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																																			
09	(1) 待ち時間の改善等 診療時間の弾力的運用など待ち時間の短縮や待ち時間の過ごし方について総合的な待ち時間対策に取り組む。待ち時間等の実態を把握し、総合的な待ち時間対策に反映させる。		III			(1) 待ち時間の改善等 待ち時間等の実態を把握し、総合的な待ち時間対策に取り組む。	○外来診療待ち時間調査 (H23. 6月実施) ・初診患者 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">待ち時間</th> <th colspan="2">21年度</th> <th colspan="2">23年度</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>待ち時間なし</td> <td>46</td> <td>80</td> <td>46</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>30～60分</td> <td>10</td> <td>18</td> <td>7</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>60～90分</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>90分以上</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計患者数</td> <td>57</td> <td>100</td> <td>54</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> ・再診患者 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">待ち時間</th> <th colspan="2">21年度</th> <th colspan="2">23年度</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>待ち時間なし</td> <td>246</td> <td>82</td> <td>142</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>30～60分</td> <td>43</td> <td>14</td> <td>34</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>60～90分</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>25</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>90分以上</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計患者数</td> <td>300</td> <td>100</td> <td>205</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> 再診患者の「待ち時間なし」がH21年度調査時よりも減少し待ち時間が増加傾向である実態を把握した。予約診療の徹底により1人あたりの診療時間が長くなっていることや救急対応による診療の中断などが原因と考えられる。 ○待ち時間対策 ・診察の遅れについては、できるだけ正確に診察の進行状況の情報を提供 ・看護師による待合室の巡視（患者の急変や気分不快等の早期発見に努める） ・小児科外来は図書コーナーを設置	待ち時間	21年度		23年度		人数	%	人数	%	待ち時間なし	46	80	46	85	30～60分	10	18	7	13	60～90分	1	2	1	2	90分以上	0	0	0	0	合計患者数	57	100	54	100	待ち時間	21年度		23年度		人数	%	人数	%	待ち時間なし	246	82	142	69	30～60分	43	14	34	17	60～90分	8	3	25	12	90分以上	3	1	4	2	合計患者数	300	100	205	100	III	
待ち時間	21年度		23年度																																																																										
	人数	%	人数	%																																																																									
待ち時間なし	46	80	46	85																																																																									
30～60分	10	18	7	13																																																																									
60～90分	1	2	1	2																																																																									
90分以上	0	0	0	0																																																																									
合計患者数	57	100	54	100																																																																									
待ち時間	21年度		23年度																																																																										
	人数	%	人数	%																																																																									
待ち時間なし	246	82	142	69																																																																									
30～60分	43	14	34	17																																																																									
60～90分	8	3	25	12																																																																									
90分以上	3	1	4	2																																																																									
合計患者数	300	100	205	100																																																																									

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項					
10	<p>(2) 院内環境の快適性向上 待合室、トイレ等の改修・補修に努めるとともに、患者のプライバシーとアメニティの確保に配慮した快適な院内環境の整備を行う。 また、治療効果を上げるため、栄養管理の向上及び患者の病態に応じた個別対応食の促進に努める。</p>		III			<p>(2) 院内環境の快適性向上 患者からの環境改善要求については、可能な限り改善に努めるとともに、患者のプライバシーとアメニティの確保に配慮した快適な院内環境の整備を行う。 また、治療効果を上げるため、栄養管理の向上及び患者の病態に応じた個別対応食の促進に努める。</p>	<p>◆病室テレビのデジアナ化工事 高齢者の入院患者が多く、地デジ化されてからテレビ機器の操作に関する不満・苦情（操作方法が分からない）が多く発生していたため、地上波デジタル電波のアナログ化工事を実施。テレビ機器操作を簡単にし、入院患者の不満の解消を図った。 ◆患者サービス向上委員会が主体となって正面玄関前の花飾りを行い、院内環境の向上に努めた。 ◆個別の栄養管理のために「栄養管理計画書」を作成し、食事内容及び栄養補給量等について患者訪問を実施。患者に食事内容をより理解していただくと共に、必要に応じ患者の要望に応えた食事の提供を実施した。</p> <p>(個別対応食)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養管理 計画書作成 件数</td> <td>2,377 件</td> <td>4,464 件</td> </tr> </tbody> </table>		22年度	23年度	栄養管理 計画書作成 件数	2,377 件	4,464 件	III	
	22年度	23年度													
栄養管理 計画書作成 件数	2,377 件	4,464 件													
11	<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備 苦情等へ迅速な対応ができる組織体制を整備する。 また、接遇研修会を開催するなど職員の接遇意識向上にも努める。</p>		III		<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備 苦情等へ迅速な対応ができる組織体制を整備する。 また、接遇研修会を開催するなど職員の接遇意識向上にも努める。</p>	<p>◆医療情報に関する相談・苦情について、問題事象への発展が懸念されるものは情報を速やかに幹部へ報告することを徹底し、組織として初期段階での対応が行える体制の確立に努めた。 ◆全職員を対象に「接遇マナーチェック」を実施。 ・身だしなみ ・態度、表情、行動 ・電話対応 について、接遇の改善を図った。</p>	III								

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項								
12	(4) 患者中心の医療の提供 患者の権利（安全、平等で最善の医療、情報の開示を受け、自己決定できるなど）の保証と職員への周知、医療者としての倫理観の確立に努める。		III			(4) 患者中心の医療の提供 患者の権利（安全、平等で最善の医療、情報の開示を受け、自己決定できるなど）の保証と職員への周知、医療者としての倫理観の確立に努める。 また、カルテ等の医療情報の情報開示については、岐阜県情報公開条例及び岐阜県個人情報保護条例に準じて適切に対応する。	<p>◆名札の裏面に「患者さんの権利」を印刷し、医療者・病院職員としての倫理観の確立に努めた。</p> <p>◆カルテ等の医療情報開示は、岐阜県情報公開条例及び岐阜県個人情報保護条例に準じて対応した。</p> <p>カルテ開示請求件数・開示件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>7 件</td> <td>3 件</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>7 件</td> <td>3 件</td> </tr> </tbody> </table>		22年度	23年度	請求件数	7 件	3 件	開示件数	7 件	3 件	III	
	22年度	23年度																
請求件数	7 件	3 件																
開示件数	7 件	3 件																
13	(5) インフォームドコンセント・セカンドオピニオンの徹底 患者自らが選択し納得できる医療を提供するため、インフォームドコンセント・セカンドオピニオンを徹底する。		III			(5) インフォームドコンセント・セカンドオピニオンの徹底 患者自らが選択し納得できる医療を提供するため、インフォームドコンセント・セカンドオピニオンを徹底する。	<p>患者・その家族には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セカンドオピニオン制度の説明により治療方法を選択する機会を提供 ・入院時の入院診療計画の提示 ・手術や検査の事前説明 <p>を行い、説明と同意に基づく治療の推進を徹底した。</p> <p>セカンドオピニオン実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>他院紹介</td> <td>6 件</td> <td>7 件</td> </tr> </tbody> </table>		22年度	23年度	他院紹介	6 件	7 件	III				
	22年度	23年度																
他院紹介	6 件	7 件																

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
14	<p>(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映</p> <p>患者や周辺住民を対象とした病院満足度調査を実施するとともに、その結果を病院運営に反映させる。</p>					<p>(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映</p> <p>患者や周辺住民を対象とした病院満足度調査を実施するとともに、その結果を病院運営に反映させる。</p>	<p>◆患者満足度調査 退院時アンケート調査を2回実施 (6月・10月：各1ヶ月間) 対象患者： 6月190名 10月170名 調査結果は接遇委員会が中心となって検討を行い、各部署の課題を改善するように努めた。</p> <p>◆地域住民との交流 ・「看護の日」等を活用し、患者やその家族・外来受診者を対象に健康チェックやアロマによるハンドマッサージを行い、地域の人々との交流に努めた。 23年度 2回実施(約160人参加) ・「龍神火祭り」への参加 病院職員が御輿の担ぎ手として参加し、地域の方々と病院職員の交流に努めた。</p> <p>開催日：7/31、8/1 参加人数：15名</p> <p>◆院内に設置してある「ふれあいボックス」に投函された意見に対して患者サービス向上委員会が中心になり改善に努めた。</p> <p>・病院職員の態度や言葉遣いに関する意見 8件</p>			

1-1-3 診療体制の充実

中期目標

3-1-3 診療体制の充実

医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実や見直し、若しくは専門外来の設置や充実等診療体制の整備・充実を図ること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項												
15	(1) 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 病診連携機能を強化するとともに、患者の動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備及び充実を図る。					(1) 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 病診連携機能を強化するとともに、患者の動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備及び充実を図る。	病診連携の強化として、開業医・診療所（下呂市内15、中津川市2、ほか）からの初診・検査予約に対応するため、予約受付を当院の総合サポートセンター（地域連携室）で行い、病院と開業医・診療所との棲み分けを図った。 ◆平成23年度に診療所からの事前予約により下呂温泉病院へ来院した件数等	III														
							<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前予約件数</td> <td>1,098 件</td> <td>766 件</td> </tr> <tr> <td>初診患者数</td> <td>10,506 人</td> <td>9,961 人</td> </tr> <tr> <td>予約割合</td> <td>10.5%</td> <td>7.7%</td> </tr> </tbody> </table>		22年度	23年度	事前予約件数	1,098 件	766 件	初診患者数	10,506 人	9,961 人	予約割合	10.5%	7.7%			
	22年度	23年度																				
事前予約件数	1,098 件	766 件																				
初診患者数	10,506 人	9,961 人																				
予約割合	10.5%	7.7%																				
16	(2) 多様な専門職の積極的な活用 高度な専門性を有する職員を外部から登用するにあたり、その専門性に適した処遇が可能となる人事給与制度を構築する。さらに高度な専門性を有する職員が定年を迎えた場合の再雇用制度も構築する。					(2) 多様な専門職の積極的な活用 高度な専門性を有する職員を外部から登用するにあたり、その専門性に適した処遇が可能となる人事給与制度の構築に向け検討を行う。さらに高度な専門性を有する職員が定年を迎えた場合の再雇用制度も構築する。	法人と顧問契約を締結している人事労務コンサルタント会社と相談・協議を重ね、年俸制の雇用制度を構築し、平成24年1月に年俸制による医師を2名採用した。	III														

1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携

中期目標

3-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携

近隣の医療機関等との役割分担を明確にするとともに病病連携・病診連携を一層推進し、地域の実情に応じて飛騨地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を実施すること。
さらに、退院後の療養に関する各種情報を提供することにより、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項									
17	<p>(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上 近隣の医療機関と連携強化することで、紹介・逆紹介を促進する 下呂市立金山病院については次のとおり役割分担を明確化する。 ア 岐阜県立下呂温泉病院 高度急性期医療（脳疾患、心疾患）、二次救急医療及び産科医療 イ 下呂市立金山病院 初期医療、慢性期・回復期医療、一次救急医療及び療養病床 また、脳血管障害後遺症等での長期入院患者については、下呂市立金山病院が受け皿の役目を果たすなどの連携を確保することで、地域で完結できる医療体制づくりに努める。</p>					<p>(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上 近隣の医療機関と連携強化することで、紹介・逆紹介を促進する。 下呂市立金山病院との関係については、個々の病院ごとの重複投資を避け、飛騨南部地域全体として効率的・効果的な医療資源及び人材配分を目指す。 また、引き続き下呂市と協議を進め、次のとおり役割分担を明確化する。 ア 岐阜県立下呂温泉病院 高度急性期医療（脳疾患、心疾患）、二次救急医療及び産科医療 イ 下呂市立金山病院 初期医療、慢性期・回復期医療、一次救急医療及び療養病床 また、脳血管障害後遺症等での長期入院患者については、下呂市立金山病院が受け皿の役目を果たすなどの連携を確保することで、地域で完結できる医療体制づくりに努める。</p>	<p>○近隣の医療機関との連携の強化を推進し、地域診療所（かかりつけ医）と下呂温泉病院の役割分担に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>33.2%</td> <td>34.5%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>27.7%</td> <td>33.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>下呂市立金山病院との関係については、下呂市健康医療部との連絡を密にすることにより、下呂市の医療政策に反映させるように努めた。</p>		22年度	23年度	紹介率	33.2%	34.5%	逆紹介率	27.7%	33.6%			
	22年度	23年度																	
紹介率	33.2%	34.5%																	
逆紹介率	27.7%	33.6%																	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
18	<p>(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及 飛騨地域の中核病院として、他の医療機関との機能分担と連携を強化するために、地域連携クリニカルパスの整備・普及等に取り組む。</p>					<p>(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及 飛騨地域の中核病院として、他の医療機関との機能分担と連携を強化するために、地域連携クリニカルパスの整備に取り組む。</p>	<p>平成22年度に「東濃西部脳卒中地域連携パス」に参画し、施設基準を取得・運用してきた。平成24年度から中津川市民病院が新たに加わることに伴い、名称も「東濃地域脳卒中地域連携パス」と改め運用していくこととなったため、施設基準の変更手続き等の調整・準備を行った。</p> <p>また、平成23年4月から「飛騨地域がん地域連携クリニカルパス」とも連携し、飛騨地域におけるがん診療の一貫した運用等に協力した。平成24年4月の診療報酬改定で新設される「緊急患者搬送地域連携受入(紹介)加算」の取得にあたり、他の医療機関と連携するための調整を行った。</p>	III		
19	<p>(3) 地域の介護・福祉機関との連携の強化 地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関への患者情報の積極的な提供や、退院時カンファレンスの取り組みの強化等により、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービスを提供する。</p>					<p>(3) 地域の介護・福祉機関との連携の強化 地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関への患者情報の積極的な提供や、退院時カンファレンスの取り組みの強化等により、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービスの提供に努める。</p>	<p>退院時カンファレンスは 【22年度】77件に対し、 【23年度】56件 平成23年度は病棟において主体的に入院早期から退院支援に関する病棟内のカンファレンスを推進し、退院時カンファレンス件数は減少しているが、病棟内のカンファレンスでは患者の今後の病状予測・退院後に予測される支援等を検討することで、電子カルテに患者情報(入院前の状況、背景、入院後の状況、退院時に予測される状況、サービスの必要性等)をほぼ90%記載することが可能となった。</p> <p>また、在宅退院患者・家族に対して予測される介護指導も入院後早期に病棟看護師が関わる事が可能となった。</p> <p>病棟看護師が積極的に地域担当者(ケアマネージャー、訪問看護師等)と患者情報の確認、提供を行うことで情報を共有することが可能となったため、退院支援に関する意識が更に向上した。</p> <p>院内・院外問わず協働して支援を検討したことにより、82.5%の患者が在宅へ退院することができた。</p>	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
19							<p>○継続看護連絡会議の実施 継続看護連絡会議の実施により、退院後も当院通院予定の患者で継続看護が必要と考えられる患者について、病棟看護師と外来看護師間で患者情報を共有し、外来受診時のフォローに繋げることができた。</p> <p>・継続看護連絡会議 【22年度】47回 【23年度】56回</p>			

1-1-5 重点的に取り組む医療

中期目標

3-1-5 重点的に取り組む医療

高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるが県民が必要とする医療を、岐阜県立下呂温泉病院として重点的に実施すること。特に、へき地医療の拠点病院として地域医療に関するあらゆることに取り組み、へき地医療拠点のモデル的病院として機能の充実を図り、その成果を県内に還元すること。また、第2次救急告示病院としての役割を維持すること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																							
20	<p>(1) へき地医療の拠点機能の充実 県全体の約12%も占める広大な診療面積と飛騨川水系に沿った細く長い距離を有するという特徴のため、病院という施設医療のみでは住民の健康を守ることはできない。 地域医療研究研修センターの機能を充実し、検診医療の充実と地域診断機能の創設、さらに診療所との連携強化を図ることで、予防医学、連携医療を構築し、「生活の場の医療」の完成を目指す。</p>	III				<p>(1) へき地医療の拠点機能の充実 広大な診療面積と飛騨川水系に沿った細く長い距離を有するという特徴のため、病院という施設医療のみでは住民の健康を守ることはできないため、総合健診センターにおいて検診医療の機能充実を図るとともに、さらに診療所との連携強化を図ることで、予防医学、連携医療を構築し、「生活の場の医療」の完成を目指す。</p>	<p>総合健診センター部による検診医療の充実のほか、「下呂市がん検診」の受入れを行った。</p> <p>総合健診センター部 受診者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日ドック</td> <td>1,284人</td> <td>1,201人</td> </tr> <tr> <td>1日+MRI</td> <td>91人</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>脳ドック</td> <td>12人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病予防</td> <td>1,170人</td> <td>1,278人</td> </tr> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>68人</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>定期健診</td> <td>277人</td> <td>392人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,902人</td> <td>3,024人</td> </tr> </tbody> </table>		22年度	23年度	1日ドック	1,284人	1,201人	1日+MRI	91人	72人	脳ドック	12人	11人	生活習慣病予防	1,170人	1,278人	下呂市がん検診	68人	70人	定期健診	277人	392人	合計	2,902人	3,024人	III	
	22年度	23年度																															
1日ドック	1,284人	1,201人																															
1日+MRI	91人	72人																															
脳ドック	12人	11人																															
生活習慣病予防	1,170人	1,278人																															
下呂市がん検診	68人	70人																															
定期健診	277人	392人																															
合計	2,902人	3,024人																															
21	<p>(2) 急性期医療の機能強化 高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった、他の医療機関においては実施が困難ではあるが、県民が必要とする医療を提供するとともに、岐阜地域等の高度・先進医療機関との連携を強化する。</p>	III				<p>(2) 急性期医療の機能強化 高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった、他の医療機関においては実施が困難ではあるが、県民が必要とする医療を提供するとともに、岐阜県総合医療センター及び岐阜大学医学部附属病院等との間で連携を強化し、高度・先進医療を推進する。</p>	<p>急性期医療の強化として、岐阜大学附属病院高次救命治療センターから医師の派遣を受け、地域県民が必要とする急性期医療の確保に寄与した。</p> <p>◆招へい状況 ・毎週水曜日又は木曜日（時間内）の救急外来 ・年延べ45人</p> <p>◆救急患者受診者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,775人</td> <td>4,741人</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆救急車搬送患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,181人</td> <td>1,269人</td> </tr> </tbody> </table>	22年度	23年度	4,775人	4,741人	22年度	23年度	1,181人	1,269人	III																	
22年度	23年度																																
4,775人	4,741人																																
22年度	23年度																																
1,181人	1,269人																																

1-2 調査研究事業
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進

3-2 調査研究事業
岐阜県立下呂温泉病院で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上並びに県民の健康意識の醸成を図るための調査及び研究を行うことを求める。
3-2-1 調査及び臨床研究等の推進
高度・先進医療の各分野において、疫学調査や診断技法・治療法の開発、臨床応用のための研究を推進すること。
県及び飛騨地域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項									
22	(1) 治験や調査研究事業に積極的に参画できる体制を整備し、受託件数の増加に努めるとともに、大学等の研究機関との共同研究を推進する。					(1) 治験や調査研究事業に積極的に参画できる体制を整備し、受託件数の増加に努める。	薬剤部・事務局（契約締結、収入・研究予算管理）で役割分担し治験実施体制を整えている。また、受託実績に応じて研究に必要な予算を実施診療科に配分する仕組みにより受託件数の増加を促している。 受託実績 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>受託内容</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用成績調査</td> <td>3 件</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>特定使用成績調査</td> <td>2 件</td> <td>3 件</td> </tr> </tbody> </table>	受託内容	22年度	23年度	使用成績調査	3 件	2 件	特定使用成績調査	2 件	3 件	III		
受託内容	22年度	23年度																	
使用成績調査	3 件	2 件																	
特定使用成績調査	2 件	3 件																	

1-2-2 診療等の情報の活用

中期目標

3-2-2 診療等の情報の活用

電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を岐阜県立下呂温泉病院で提供する医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
23	<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 医療情報システムに蓄積された各種医療データを分析し、医療情報として提供することにより院内の医療従事者の総合的なレベルアップを図る。 また、その情報を地域の医療機関へも情報提供することにより地域医療全体の活性化を図る。</p>		III			<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 医療情報システムに蓄積された各種医療データを分析し、医療情報として提供することにより院内の医療従事者の総合的なレベルアップを図る。 また、その情報を地域の医療機関へも情報提供することにより地域医療全体の活性化を図る。</p>	<p>医療情報システムに蓄積されたデータを利用して、診療委員会における報告書や、診療実績、収支状況等の経営概要一覧を作成し、それらを毎月行う管理会議で職員に資料提示して病院の実状を周知させ、経営改善に向けてよりよい医療体制づくりに努めた。</p>	III		
24	<p>(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 集積したエビデンスをカンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用することで、医療の質の向上を図る。 特に、地域医療研究研修センターでの調査研究事業において有効な活用を図る。</p>		II			<p>(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 集積したエビデンスをカンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用することで、医療の質の向上を図る。特に、地域医療研究研修センターでの調査研究事業において有効な活用を図る。 また、病院年報を年1回発行し、その研究成果を岐阜県及び圏域市町村の関係機関に提供する。</p>	<p>下呂温泉病院年報第36号を発行し、院内での活用による医療の質の向上を図るとともに関係機関へ配布し、情報の提供を行った。 【配布先】 ・県内、県外医療機関等 延52機関 ・岐阜県機関、飛騨圏域 3市1村、中津川市、白川町 延17機関 合計 69機関</p>	III		

1-2-3 保健医療情報の提供・発信

中期目標

3-2-3 保健医療情報の提供・発信

県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
25	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催 一般市民向けの公開講座や医療に関する相談会を定期的に開催し、保健医療・各種福祉制度に関する情報の提供や発信を行う。					(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催 一般市民向けの公開講座や医療に関する相談会を定期的に開催し、保健医療・各種福祉制度に対する情報の提供や発信を行う。	公開講座等の実施状況 ◆糖尿病教室 【開催内容】 患者・家族を対象に、生活習慣の改善やその動機付け、病気に対する正しい知識の取得 【開催日】毎月第4木曜日開催 (H23 計11回開催) 【参加者数】延べ42名参加 ◆マタニティエクササイズ 【開催内容】助産師による集団指導 妊娠中の運動、エクササイズ、ヨガ、リラクゼーション 【開催日】毎月第3木曜日開催 (H23 計7回開催) 【参加者数】延べ13人 ◆ベビービクス 【開催内容】助産師による集団指導 ベビーマッサージ・エクササイズ、ママの軽いストレッチ 【開催日】毎月第2木曜日開催 (H23 計11回開催) 【参加者数】延べ52人 ◆市民公開講座 【開催内容】 岐阜大学医学部准教授の先生による「背骨の病気」に関するセミナー 【開催日】H23. 8. 13、H24. 2. 11		III	III

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項								
26	(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 集積したエビデンスをカンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用することで、医療の質の向上を図る。 特に、地域医療研究研修センターでの調査研究事業において有効な活用を図る。		III			(2) 保健医療、健康管理等の情報提供 病院が有する保健医療情報についてもホームページで公開するよう努めるとともに、病院広報誌の内容充実を図り、地域が必要とする保健医療情報の提供に努める。 また、他の機関が主催する住民等に対する講師派遣についても積極的に協力していく。	<p>◆病院広報誌の発行 「健康と医療」を6月と12月に3000部ずつ発行。治療情報や健康管理情報を掲載し、圏域の開業医・自治会・福祉関係施設など54の関係者や団体に配布することにより、地域が必要とする保健医療情報の提供を行った。</p> <p>◆地域医師会等主催講演会への参加 地域医師会等主催の学術講演会に当院医師・看護師が講師、座長として参加。症例検討や講演などにより、医療情報の提供を行った。</p> <p>・講師等で参加した回数・人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>6回</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>15人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆ホームページでの情報提供 内視鏡の新しい検査方法など、住民向けの情報提供（コンテンツ数2）を行った。</p>		22年度	23年度	回数	6回	11回	人数	15人	12人	III	
	22年度	23年度																
回数	6回	11回																
人数	15人	12人																

1-3 教育研修事業
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実

中期目標	3-3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、岐阜県立看護大学及び岐阜県立看護専門学校等の学生並びに救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。
	3-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実 研修医等の研修施設として認められた病院（臨床研修病院）として、臨床研修医及びレジデント（専門分野の研修医）の積極的な受入れを行なうこと。 岐阜大学医学部附属病院や県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を活かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項			
27	(1) 地域医療を目指す医師の養成 岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センターからの臨床研修医を積極的に受け入れ、地域医療を目指す医師の養成に努める。 また、独自の臨床研修プログラムの開発に努める。					(1) 地域医療を目指す医師の養成 岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センターからの臨床研修医を積極的に受け入れ、地域医療を目指す医師の養成に努める。 また、平成23年度においては、初期研修医1名を受入れる。	岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センターの協力施設として地域医療研修を行う臨床研修医の受入れを行うとともに、基幹型の臨床研修病院として平成22年度に引き続き、平成23年度も1名の臨床研修医を受け入れた。 【研修の状況】 ・1年次研修医 1名 実施した研修科：内科6ヶ月、救急3ヶ月、外科2ヶ月、整形外科1ヶ月 ・2年次研修医 1名 実施した研修科：産婦人科1ヶ月、地域医療1ヶ月（東白川村診療所、小坂診療所）、精神科1ヶ月（南ひだせせらぎ病院）、内科9ヶ月 ・初期臨床研修医数（期末時点）	III	III				
		<table border="1"> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> <tr> <td>1名</td> <td>2名</td> </tr> </table>		22年度	23年度	1名	2名						
22年度	23年度												
1名	2名												

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
28	(2) 臨床研修医の県内定着化の促進 岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター及びその他の県内臨床研修病院等と連携し、研修医を支援するネットワークを構築することで、臨床研修医の県内定着化を促進する。		III			(2) 臨床研修医の県内定着化の促進 岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター及びその他の県内臨床研修病院等と連携し、研修医を支援するネットワーク構築の検討を行う。	岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等との密接な連携のもとに当院を実践フィールドとし、地域医療を担う医師の養成を実施。(受入数はNo. 03のとおり) 当院の見学を希望する他県の医学生に対し、積極的に地域医療に関する説明を行った。(札幌医科大学1名、旭川医科大学1名、筑波大学1名)	III		

1-3-2 看護学生、救急救命士等に対する教育の実施

中期
目標

3-3-2 看護学生、救急救命士等に対する教育の実施
県内に就学している看護学生の実習受入れ、救急救命士の新規養成及び再教育にともなう病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																				
29	(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ 看護学生の病院実習の受入れ体制充実に努める。 平成20年度実績 看護学校等106名 平成21年度見込 看護学校等95名					(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ 看護学生の病院実習の受入れ体制充実に努める。 平成21年度実績 看護学校等84名 平成22年度見込 看護学校等89名	<p>◆看護学生の実習受入れ実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂看護専門学校</td> <td>81名</td> <td>77名</td> </tr> <tr> <td>県立衛生専門学校助産科</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>岐阜県立看護大学</td> <td>68名</td> <td>73名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>153名</td> <td>154名</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆下呂看護専門学校への講師派遣</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師、 歯科医師</td> <td>9名</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>10名</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>7名</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>事務職</td> <td>1名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27名</td> <td>35名</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	22年度	23年度	下呂看護専門学校	81名	77名	県立衛生専門学校助産科	3名	3名	岐阜県立看護大学	68名	73名	その他	1名	1名	計	153名	154名	職種	22年度	23年度	医師、 歯科医師	9名	17名	看護師	10名	9名	コメディカル	7名	7名	事務職	1名	2名	計	27名	35名			
学校名	22年度	23年度																																												
下呂看護専門学校	81名	77名																																												
県立衛生専門学校助産科	3名	3名																																												
岐阜県立看護大学	68名	73名																																												
その他	1名	1名																																												
計	153名	154名																																												
職種	22年度	23年度																																												
医師、 歯科医師	9名	17名																																												
看護師	10名	9名																																												
コメディカル	7名	7名																																												
事務職	1名	2名																																												
計	27名	35名																																												

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																										
30	<p>(2) 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実 救急救命士などの病院実習の受入れ体制充実に努める。 また、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士等の学生についても積極的に受入れを行う。</p> <p>平成20年度実績 就業前教育実習3名、 再教育実習12名、 ワークステーション方式実習7名、 薬剤投与実習7名</p> <p>平成21年度見込 就業前教育実習3名、 薬剤投与実習2名、 消防学校病院実習1名</p>					<p>(2) 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実 救急救命士などの病院実習の受入れ体制充実に努める。 また、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士等の学生についても積極的に受入れを行う。</p> <p>平成21年度実績 就業前教育実習3名、 薬剤投与実習4名、 消防学校病院実習1名</p> <p>平成22年度見込 就業前教育実習1名、 再教育実習19名、 薬剤投与実習1名、 消防学校病院実習1名</p>	<p>◆下呂市消防本部の救急救命士の病院実習受入れ実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実習項目</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就業前教育実習</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>再教育実習</td> <td>17名</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>消防学校病院実習</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20名</td> <td>22名</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆コメディカル等の実習受入れ実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理学療法士</td> <td>20名</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>3名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>0名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>29名</td> <td>37名</td> </tr> </tbody> </table>	実習項目	22年度	23年度	就業前教育実習	1名	1名	再教育実習	17名	19名	薬剤投与実習	1名	1名	消防学校病院実習	1名	1名	計	20名	22名	職種	22年度	23年度	理学療法士	20名	25名	作業療法士	3名	3名	言語聴覚士	2名	2名	薬剤師	1名	1名	管理栄養士	3名	5名	社会福祉士	0名	1名	計	29名	37名	III	III	
実習項目	22年度	23年度																																																		
就業前教育実習	1名	1名																																																		
再教育実習	17名	19名																																																		
薬剤投与実習	1名	1名																																																		
消防学校病院実習	1名	1名																																																		
計	20名	22名																																																		
職種	22年度	23年度																																																		
理学療法士	20名	25名																																																		
作業療法士	3名	3名																																																		
言語聴覚士	2名	2名																																																		
薬剤師	1名	1名																																																		
管理栄養士	3名	5名																																																		
社会福祉士	0名	1名																																																		
計	29名	37名																																																		

1-4 地域支援事業
1-4-1 地域医療への支援

中期目標

3-4 地域支援事業
地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう地域への支援を行うことを求める。
3-4-1 地域医療への支援
地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。
医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援などの人的支援を行うこと。
岐阜大学医学部及び岐阜県総合医療センターと連携し、地域医療学の研究と地域医療に携わる医師の養成を図ること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
31	<p>(1) 地域医療水準の向上 地域医療研究研修センターでは、岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センターとの密接な連携のもとに、二次医療圏における医療提供体制の課題と解決策に関する調査研究及び当院を実践フィールドとした地域医療学の研究を行うことで、地域医療を担う医師の養成に取り組む。 病診連携を推進し、開業医との情報交換を積極的に行う。</p>					<p>(1) 地域医療水準の向上 地域医療研究研修センターでは、岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センターとの密接な連携のもとに、二次医療圏における医療提供体制の課題と解決策に関する調査研究及び当院を実践フィールドとした地域医療学の研究を行うことで、地域医療を担う医師の養成に取り組む。 病診連携の推進を目指し、5床の開放型病床を設置し、医療資源の有効活用を図る。また、開業医との情報交換会を月1回以上実施するとともに、当院で主催する各種医療研修会等にも開業医を招き、地域全体の医療水準向上に努める。</p>	<p>地域医師会との情報交換会を原則第1木曜日に実施し、地域開業医との連携を図った。 また、二次医療体制の課題検討のため、下呂市及び中津川市消防本部との情報交換会を開催。症例発表や講演会を通して地域メディカルコントロールの連携を強化し、地域医療水準の向上に努めた。 【情報交換会 開催実績】 第1回 H23.5.17 出席71名 第2回 H23.7.19 出席56名 第3回 H23.11.16 出席56名 第4回 H24.1.18 出席65名 第5回 H24.3.21 出席44名</p> <p>○開放型病床の導入 医療資源の有効な活用と地域連携の更なる推進を目指し、平成23年度に「下呂温泉病院開放型病床実施要綱」等を整備するとともに地元医師会及び歯科医師会等の協力（合意）のもとに31開業医と登録医の認定手続きを交わし（H24.3.26登録証交付）運用体制を整備した。 今後、施設基準の届出にあたり開放型病床の利用実績が必要となることから、現在、紹介患者の受入準備体制を取っている。</p>			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																									
32	(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援 飛騨及び中濃医療圏のへき地診療所や 医師不足地域の医療機関への診療支援な どの人的支援を行う。					(2) 医師不足の地域の医療機関やへき 地医療機関への診療支援など人的支援 飛騨及び中濃医療圏のへき地診療所や 医師不足地域の医療機関への診療支援な どの人的支援を行うとともに、高度医療 機器の共同利用を進める。	◆へき地・医師不足診療所等への医師出 向による人的支援状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>出向先</th> <th>診療科</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂市立 金山病院</td> <td>内科</td> <td>延 47 日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下呂市立 小坂診療所</td> <td>内科</td> <td>延 11 日</td> <td>延 194 日</td> </tr> <tr> <td>産婦 人科</td> <td>延 33 日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">東白川村 国保診療所</td> <td>外科</td> <td>延 12 日</td> <td>延 12 日</td> </tr> <tr> <td>整形 外科</td> <td>延 12 日</td> <td>延 12 日</td> </tr> <tr> <td>東白川村母 子健康センター</td> <td>産婦 人科</td> <td>延 24 日</td> <td>延 8 日</td> </tr> <tr> <td>高山市国保 久々野診療所</td> <td>内科</td> <td>延 44 日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">関市国保上 之保診療所</td> <td>内科</td> <td>延 1 日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>整形 外科</td> <td>延 1 日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>郡上市国保 和良診療所</td> <td>内科</td> <td>延 2 日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>延 187 日</td> <td>延 226 日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ◆当院医療機器の地域開業医等の利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機器</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MR I</td> <td>134 件</td> <td>117 件</td> </tr> <tr> <td>C T</td> <td>6 件</td> <td>7 件</td> </tr> </tbody> </table>				出向先	診療科	22年度	23年度	下呂市立 金山病院	内科	延 47 日	—	下呂市立 小坂診療所	内科	延 11 日	延 194 日	産婦 人科	延 33 日	—	東白川村 国保診療所	外科	延 12 日	延 12 日	整形 外科	延 12 日	延 12 日	東白川村母 子健康センター	産婦 人科	延 24 日	延 8 日	高山市国保 久々野診療所	内科	延 44 日	—	関市国保上 之保診療所	内科	延 1 日	—	整形 外科	延 1 日	—	郡上市国保 和良診療所	内科	延 2 日	—	合計		延 187 日	延 226 日		医療機器	22年度	23年度	MR I	134 件	117 件	C T	6 件	7 件			
出向先	診療科	22年度	23年度																																																																	
下呂市立 金山病院	内科	延 47 日	—																																																																	
下呂市立 小坂診療所	内科	延 11 日	延 194 日																																																																	
	産婦 人科	延 33 日	—																																																																	
東白川村 国保診療所	外科	延 12 日	延 12 日																																																																	
	整形 外科	延 12 日	延 12 日																																																																	
東白川村母 子健康センター	産婦 人科	延 24 日	延 8 日																																																																	
高山市国保 久々野診療所	内科	延 44 日	—																																																																	
関市国保上 之保診療所	内科	延 1 日	—																																																																	
	整形 外科	延 1 日	—																																																																	
郡上市国保 和良診療所	内科	延 2 日	—																																																																	
合計		延 187 日	延 226 日																																																																	
医療機器	22年度	23年度																																																																		
MR I	134 件	117 件																																																																		
C T	6 件	7 件																																																																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項						
33	<p>(3) へき地医療拠点病院としての地域医療支援 へき地医療拠点病院として地域医療のすべてに取り組むとともに、飛騨南部地域の中心的役割を担い、へき地医療のモデル的病院としてその成果を県内に還元していく。</p>	III				<p>(3) へき地医療拠点病院としての地域医療支援 へき地医療拠点病院として地域医療のすべてに取り組むとともに、飛騨南部地域の中心的役割を担い、へき地医療のモデル的病院としてその成果を県内に還元していく。 平成23年度も引き続き、検診部門の充実を図ることで、予防医学の充実を目</p>	<p>平成23年度も引き続き、総合健診センター部において「下呂市がん検診」の受け入れを行い、へき地における予防医学の充実を図った。 【「下呂市がん検診」の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下呂市民対象 ・検診項目：胃がん検診、大腸がん検診、肺がん及び結核検診をセットで検診 <p>◆下呂市がん検診の受診状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>68 人</td> <td>70 人</td> </tr> </tbody> </table>		22年度	23年度	下呂市がん検診	68 人	70 人	III		
	22年度	23年度														
下呂市がん検診	68 人	70 人														

1-4-2 社会的な要請への協力

中期
目標

3-4-2 社会的な要請への協力
岐阜県立下呂温泉病院が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣など社会的な要請に積極的な協力を行うこと。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
34	医療に関する鑑定や調査、講師派遣など社会的な要請に対する協力を行う。		III			医療に関する鑑定や調査、講師派遣など社会的な要請に対する協力を行う。	下呂市が実施する「障害児療育支援事業」に対し、当院の専門知識を有する理学療法士を派遣し、社会的要請の協力を行った。 H23年度 年7回派遣	III		

1-5 災害等発生時における医療救護
1-5-1 医療救護活動の拠点機能

中期目標
3-5 災害等発生時における医療救護
災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフの派遣や災害派遣医療チームの派遣など医療救護を行うことを求める。
3-5-1 医療救護活動の拠点機能
災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受け入れや医療スタッフの現地派遣など本県或いは飛騨地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
35	<p>災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフの派遣など医療救護を行う。</p> <p>(1) 岐阜県地域防災計画に基づき、岐阜県或いは飛騨地域の医療救護活動拠点機能を担うとともに、災害等の発生時には患者の受け入れなど求められる機能を発揮する。</p>					<p>災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフの派遣など医療救護を行う。</p> <p>岐阜県地域防災計画に基づき、本県或いは飛騨地域の医療救護活動拠点機能を担うとともに、災害等の発生時には患者の受け入れなど求められる機能を発揮する。災害発生時に備え、下呂市が実施する災害訓練に積極的に参加する。</p>	<p>災害発生時には「岐阜県立下呂温泉病院災害対策マニュアル」により、不測の事態に対応できるよう体制を構築している。</p> <p>また、下呂市が実施する「下呂市医療救護訓練」に伴う事前研修会及び当日訓練に参加し、多数傷病者発生時のトリアージと初期処置について関係機関との連携及び現場対応等について再確認した。</p> <p>【下呂市医療救護訓練】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前研修会 H23.11.10 下呂市市民会館 参加者50名 当日訓練 H23.11.24 星雲会館 参加者100名 	III		

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

2-1 効率的な業務運営体制の確立

2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立

中期目標	4 業務運営の改善及び効率化に関する事項
	4-1 効率的な業務運営体制の確立 自律性・機動性・効率性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に活かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。
	4-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立
	医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、法人の理事長のリーダーシップが発揮できる簡素で効果的な組織体制を確立すること。 ITの活用とアウトソーシングを進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
36	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 理事長のリーダーシップが発揮できる組織体制を構築する。		III			(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 理事長のリーダーシップが発揮できる組織体制を構築するとともに、事務部門の組織体制の強化を図る。	人事労務・経営企画の業務量増加に対応し、総務課管理調整担当にプロパーの常勤職員を1名増員し、事務管理部門の組織体制を強化した。	III		
37	(2) 各種業務のIT化の推進 人事給与システム、旅費システム、経営管理システムなどITを活用した各種事務合理化を進める。		III			(2) 各種業務のIT化の推進 人事給与システム、旅費システム、経営管理システムなどのITを有効に活用するための研修会を開催する。	・人事給与システム操作研修 新任、転任の事務職員に対し、操作研修を実施した。 研修開催日：平成23年5月24日 参加人数：3名	III		
38	(3) アウトソーシング導入による合理化 定期的な業務についてはアウトソーシングを導入することにより各種事務合理化を進める。		II			(3) アウトソーシング導入による合理化 定期的な業務についてはアウトソーシングを導入することにより各種事務合理化を進める。	アウトソーシングの導入可能な定期的な業務の検討を行ったものの、H23年度において導入可能な事案がなかったが、今後は材料の一部SPD導入の可能性等も含めて検討を行う。	II		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
39	<p>(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立</p> <p>経営企画機能を強化することで、経営効率の高い業務執行体制を確立するとともに、職員の意見が反映されやすい風通しの良い組織運営に努める。また、定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用する制度を整備する。</p>					<p>(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立</p> <p>経営企画機能を強化することで、経営効率の高い業務執行体制を確立するとともに、職員の意見が反映されやすい風通しの良い組織運営に努め、「企業体意識」の向上を目指す。</p> <p>また、定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用する制度を整備する。</p> <p>さらに、各種経営分析を行い、その結果を経営に活用できる体制づくりに取り組む。</p>	<p>毎月第4木曜日開催の管理会議に職員の代表者2名がオブザーバーとして参加。管理会議後には職員と管理者（経営者）との意見交換会を開催し、業務・経営に関する意見や提案などを病院運営に反映させ、風通しの良い組織づくりに努めた。</p> <p>また、月次決算状況を理事長に提出する時には月次のキャッシュフローを添付し、資金の流れや資金量を常に注視する体制づくりに努めた。</p>	III		

2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用

中期目標 4-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用
 医療需要の変化に迅速に対応し、診療科の変更や医師・看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。
 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
40	(1) 弾力的運用の実施 医療需要の変化や患者の動向に迅速に対応するため、診療科の変更や医師・看護師等の配置の弾力的運用に努める。特に看護師については業務量に応じ柔軟な職員配置を行う。		III			(1) 弾力的運用の実施 医療需要の変化や患者の動向に迅速に対応するため、診療科の変更や医師・看護師等の配置の弾力的運用に努める。特に看護師については業務量に応じ柔軟な職員配置を行うとともに、適材適所の人事に努める。	【柔軟な勤務配置】 看護部では状況に応じてタイムリーな支援体制を構築するよう入退院患者数や看護必要度の把握を行った。それによりスタッフの支援体制に関する意識が高まり、支援の申し出が増加した。また支援を受ける部署は支援業務を明確にし、スムーズな対応に努めた。 *全部署からの総支援時間数 H22 2360.6時間 → H23 3075.6時間	III		
41	(2) 効果的な体制による医療の提供 職種の特長に基づき、多様な勤務形態の非常勤専門職を活用することで、効率的に医療を提供する。		III			(2) 効果的な体制による医療の提供 職種の特長に基づき、多様な勤務形態の非常勤専門職を活用することで、効率的に医療を提供する。 また、各医療現場のニーズにあった適正な人材確保に努める。	【多様な勤務形態の非常勤職員の活用】 ◆当院を定年退職した看護師を非常勤看護師として2名、4時間の短時間パートを1名採用し、経験豊富な人材の確保を図った。 ◆医師事務作業補助者として、22年度の非常勤職員3名採用に引き続き23年度は新たに2名を採用した。また専門研修への参加により養成を行い、医師事務の負担軽減を更に推進した。(その結果、施設基準「医師事務作業補助加算」について24年5月に100:1から75:1へランクアップ) ・医師事務作業補助者数	III		

21年度末	22年度末	23年度末
0名	3名	5名

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																										
42	<p>(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化） 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター及び地方独立行政法人岐阜県立多治見病院間での人事交流を積極的に行うことで、適正な人員配置を実現する。</p>					<p>(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化） 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター及び地方独立行政法人岐阜県立多治見病院間での人事交流を積極的に行うことで、適正な人員配置を実現する。 平成23年度も引き続き、職種による人員の過不足に対処するため、3法人間で相互に職員を派遣し、医療サービスの水準を維持する。</p>	<p>地方独立行政法人岐阜県総合医療センター及び地方独立行政法人岐阜県立多治見病院との間で「職員の出向に関する協定書」を締結して、3病院間で過不足となる医療従事者の派遣を行い、医療サービスの水準を維持するための人員配置を行った。</p> <p>・H23の状況</p> <p>◆センター→下呂 薬剤師 2名 臨床工学技士 1名（延べ2名）</p> <p>◆下呂→センター 看護師 2名 助産師 2名（3ヶ月） 助産師 1名（4ヶ月）</p> <p>◆多治見→下呂 臨床検査技師 2名</p> <p>◆下呂→多治見 看護師 1名 理学療法士 1名</p> <p>・他法人への出向状況（年度比較）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>2名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>助産師(短期)</td> <td></td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>1名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>1名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5名</td> <td>7名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・他法人からの受入状況（年度比較）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>3名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>4名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>2名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>3名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13名</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table>	職種	22年度	23年度	看護師	2名	3名	助産師(短期)		3名	薬剤師	1名		放射線技師	1名		理学療法士	1名	1名	計	5名	7名	職種	22年度	23年度	薬剤師	3名	2名	検査技師	4名	2名	臨床工学技士	1名	1名	理学療法士	2名		作業療法士	3名		計	13名	5名	III		
職種	22年度	23年度																																																		
看護師	2名	3名																																																		
助産師(短期)		3名																																																		
薬剤師	1名																																																			
放射線技師	1名																																																			
理学療法士	1名	1名																																																		
計	5名	7名																																																		
職種	22年度	23年度																																																		
薬剤師	3名	2名																																																		
検査技師	4名	2名																																																		
臨床工学技士	1名	1名																																																		
理学療法士	2名																																																			
作業療法士	3名																																																			
計	13名	5名																																																		

2-1-3 人事評価システムの構築

中期目標

4-1-3 人事評価システムの構築

職員のモチベーション向上のため、知識、能力、経験や勤務実績等を反映させた公平で客観的な人事評価制度の構築を図り、中期目標の期間の最終年度までに試行運用を行うこと。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
43	<p>職員の実績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成、人事管理に活用するための公正で客観的な人事評価制度を構築する。 なお、当該制度を中期目標の期間内に試行的に実施する。</p>					<p>職員勤務意欲を高めるため、職員の実績や能力を職員の給与に反映した公正で客観的な人事評価制度の構築に向けて検討を行う。</p>	<p>意欲をもって働くことができる人事評価制度の構築に向けて、平成23年度は関係の研修会への参加を行った。 ◆「人事制度改革の要点」公開セミナー 大阪市 H23.11.21 参加者：総務課長 ◆公正採用選考に係る研修会 多治見市 H24.1.25 参加者：総務課長 病院の現状に即した人事評価制度構築のための情報収集及び検討を行った。</p>	III		

2-1-4 事務部門の専門性の向上

中期
目標

4-1-4 事務部門の専門性の向上
事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
44	<p>病院特有の事務に精通し、法人の事務及び経営の中心となるプロパー職員を計画的に確保するとともに、プロパー職員には診療報酬事務、病院経営等の専門研修に積極的に出席させるなど、事務部門の専門性の向上に努める。</p> <p>特に、メディカルソーシャルワーカーや電算専門職員といった県からの派遣が難しい職種については、早い段階でプロパー職員の手当てを行う。</p>		III			<p>病院特有の事務に精通し、法人の事務及び経営の中心となるプロパー職員を計画的に確保するとともに、プロパー職員には診療報酬事務、病院経営等の専門研修に積極的に出席させるなど、事務部門の専門性の向上に努める。</p> <p>また、診療報酬事務担当職員及び経営事務担当職員を各種団体が実施する専門研修に出席させることとともに、病院経営幹部職員も各種病院マネジメント研修を受講し、経営改善に役立てる。</p>	<p>平成23年度プロパー事務職員採用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務課配置 3名 ・医療サービス課配置 2名 <p>10月には新規採用職員の研修を実施</p> <p>事務局職員の専門性向上のための研修等受講状況</p> <p>【医療サービス課職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者診療報酬管理研修会 1名 5月13日、3月23日（東京） ・医師事務作業補助者養成研修 2名 10月6～7日（大阪） 12月17～18日（東京） ・平成24年度診療報酬改定研修 4名 1～3月（名古屋、東京、横浜等） <p>【総務課職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院・医療機関のための人事労務管理研修 1名 3月15日（東京） <p>・事務職員の状況（期末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー</td> <td></td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>県派遣</td> <td>22名</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22名</td> <td>24名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	22年度	23年度	プロパー		5名	県派遣	22名	19名	合計	22名	24名	III		
区分	22年度	23年度																				
プロパー		5名																				
県派遣	22名	19名																				
合計	22名	24名																				

2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善
2-2-1 多様な契約手法の導入

中期目標

4-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善
地方独立行政法人制度の特徴を活かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。
4-2-1 多様な契約手法の導入
透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図るとともに、費用の節減に努めること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
45	<p>民間病院の取り組みを参考に、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法の導入により、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図る。</p> <p>特に、高度医療機器については、購入後のメンテナンス費用も考慮する必要があることから、メンテナンスも含めた入札、契約方法の導入について検討を行う。</p>					<p>民間病院の取り組みを参考に、維持管理業務委託などで複数年契約や複合契約などの多様な契約手法の導入により、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図る。</p> <p>特に、高度医療機器については、購入後のメンテナンス費用も考慮する必要があることから、メンテナンスも含めた入札、契約方法の導入について検討を行う。</p>	<p>【管財】 維持管理業務について、従来より単年度で契約していた業務について、平成23年度から3年間の複数年契約とし、契約事務の集約化・簡素化・効率化を図ると共に経費節減に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警備・電話交換業務 ・機械及び監視室等保全管理業務 ・建物清掃委託業務 ・消防設備保守点検業務 <p>【用度】 医療機器保守委託業務について入札・見積合わせ等の競争原理を導入、また高度医療機器（X線CT装置）における保守委託業務について複数年契約を導入し経費節減を図った。</p> <p>なお、購入後のメンテナンス費用も含めた総価入札を行う場合は、メンテナンス業務が購入先でしか行えないことが前提となることから、これらを踏まえて運用する必要があることとした。</p>	III	III	

2-2-2 収入の確保

中期目標

4-2-2 収入の確保
地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																												
46	<p>(1) 効率的な病床管理、医療機器の効果的な活用 病床利用率については、病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効果的な活用ができるよう病床管理を徹底する。 医療機器については、医師確保により稼働率の向上を目指すとともに、有効活用の点から開業医等の受託促進に努める。</p>					<p>(1) 効率的な病床管理、医療機器の効果的な活用 病床利用率については、病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効果的な活用ができるよう病床管理の徹底を引き続き行う。 医療機器については、医師確保により稼働率の向上を目指すとともに、有効活用の点から開業医等の受託促進に努める。</p>	<p>病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効果的な活用ができるよう病床管理の徹底を引き続き実施。</p> <p>◆病床利用率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病棟</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-3</td> <td>59.7%</td> <td>58.5%</td> </tr> <tr> <td>A-5</td> <td>54.3%</td> <td>33.0%</td> </tr> <tr> <td>B-2</td> <td>61.3%</td> <td>64.9%</td> </tr> <tr> <td>B-3</td> <td>69.5%</td> <td>64.8%</td> </tr> <tr> <td>B-4</td> <td>64.5%</td> <td>62.8%</td> </tr> <tr> <td>B-5</td> <td>59.2%</td> <td>61.8%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>53.9%</td> <td>51.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆その他の指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>63,884 人</td> <td>61,168 人</td> </tr> <tr> <td>1日平均入院患者数</td> <td>175 人</td> <td>167 人</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>17.7 日</td> <td>18.3 日</td> </tr> <tr> <td>入院収益</td> <td>2,456,820千円</td> <td>2,307,847千円</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価</td> <td>38,458 円</td> <td>37,730 円</td> </tr> <tr> <td>外来延患者数</td> <td>86,477 人</td> <td>82,152 人</td> </tr> <tr> <td>1日平均外来患者数</td> <td>356 人</td> <td>337 人</td> </tr> <tr> <td>外来収益</td> <td>890,907千円</td> <td>890,834千円</td> </tr> <tr> <td>外来診療単価</td> <td>10,302 円</td> <td>10,844 円</td> </tr> <tr> <td>室料差額収益</td> <td>12,558千円</td> <td>13,555千円</td> </tr> <tr> <td>受託検査収益</td> <td>1,867千円</td> <td>1,793千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 平均在院日数は重症者・回復期病棟等を除く 注2) 金額は税込で表示</p>	病棟	22年度	23年度	A-3	59.7%	58.5%	A-5	54.3%	33.0%	B-2	61.3%	64.9%	B-3	69.5%	64.8%	B-4	64.5%	62.8%	B-5	59.2%	61.8%	全体	53.9%	51.4%	項目	22年度	23年度	入院延患者数	63,884 人	61,168 人	1日平均入院患者数	175 人	167 人	平均在院日数	17.7 日	18.3 日	入院収益	2,456,820千円	2,307,847千円	入院診療単価	38,458 円	37,730 円	外来延患者数	86,477 人	82,152 人	1日平均外来患者数	356 人	337 人	外来収益	890,907千円	890,834千円	外来診療単価	10,302 円	10,844 円	室料差額収益	12,558千円	13,555千円	受託検査収益	1,867千円	1,793千円			
病棟	22年度	23年度																																																																				
A-3	59.7%	58.5%																																																																				
A-5	54.3%	33.0%																																																																				
B-2	61.3%	64.9%																																																																				
B-3	69.5%	64.8%																																																																				
B-4	64.5%	62.8%																																																																				
B-5	59.2%	61.8%																																																																				
全体	53.9%	51.4%																																																																				
項目	22年度	23年度																																																																				
入院延患者数	63,884 人	61,168 人																																																																				
1日平均入院患者数	175 人	167 人																																																																				
平均在院日数	17.7 日	18.3 日																																																																				
入院収益	2,456,820千円	2,307,847千円																																																																				
入院診療単価	38,458 円	37,730 円																																																																				
外来延患者数	86,477 人	82,152 人																																																																				
1日平均外来患者数	356 人	337 人																																																																				
外来収益	890,907千円	890,834千円																																																																				
外来診療単価	10,302 円	10,844 円																																																																				
室料差額収益	12,558千円	13,555千円																																																																				
受託検査収益	1,867千円	1,793千円																																																																				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項								
47	(2) 未収金の発生防止対策等 分納制度及び公的制度を可能な限り利用した未収金の発生防止対策を積極的に進めるほか、使用料・手数料についても、県内の公立病院及び民間病院の状況を把握することで、適正な使用料・手数料の算定できるよう努める。		III			(2) 未収金の発生防止対策等 公的制度等を可能な限り利用した未収金の発生防止対策を積極的に進めるほか、発生した未収金に対しては医療相談を行い、分納制度等の支払いやすい方法を提示して、未収金の回収に努める。使用料・手数料についても、県内の公立病院及び民間病院の状況を把握することで、適正な使用料・手数料の算定できるよう努める。 また、未収金発生リスクの軽減を図るため、コンビニ収納導入の検討を行う。 さらに、未収金の回収方法については、少額訴訟制度の活用も検討する。	未収金発生防止については、まず患者負担を減らすことを第一に考え、入院の際に高額医療費限度額適用申請や出産育児一時金代理申請（妊婦のみ）の手続きを説明し申請を促した。 また、医療相談により、生活保護の申請や市の福祉担当者との連絡を密にするなどし、患者の利益にもなるように努めた。 一方、発生した未収金に対し、支払困難者については分納制度を勧め、場合によっては預金口座振替を活用するなど、未収金額を減らすよう努めた。 ・未収金発生状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>371 件</td> <td>340 件</td> </tr> <tr> <td>未収金額</td> <td>7,296千円</td> <td>5,857千円</td> </tr> </tbody> </table>		22年度	23年度	件数	371 件	340 件	未収金額	7,296千円	5,857千円	III	
	22年度	23年度																
件数	371 件	340 件																
未収金額	7,296千円	5,857千円																
48	(3) 施設基準の取得 診療報酬制度については、入院基本料の診療報酬最高額である7対1看護体制を維持するとともに、非常勤医師の常勤化や経験年数の長い医師の確保等により冠動脈CT撮影加算やハイリスク分娩管理加算等の新たな施設基準の取得を目指す。		II		(3) 施設基準の取得 診療報酬制度については、入院基本料の診療報酬最高額である7対1看護体制を維持するとともに、非常勤医師の常勤化や経験年数の長い医師の確保等により冠動脈CT撮影加算やハイリスク分娩管理加算等の新たな施設基準の取得を目指す。	入院基本料7対1看護体制の維持とともに平成23年度に次の施設基準を取得 ◆慢性期病棟等退院調整加算1 H23.4.1取得 ◆急性期病棟等退院調整加算1 H23.4.1取得 ◆外来化学療法加算1 H23.8.1取得 ◆がん治療連携指導料 H23.4.1取得 ◆HPV核酸同定検査 H24.3.1取得	III											

2-2-3 費用の削減

中期目標 4-2-3 費用の削減
薬剤・診療材料の購入方法の見直しや在庫管理の徹底などにより費用の節減に努めること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																					
49	(1) 在庫管理の徹底 薬剤・診療材料については、在庫管理システムによる管理を徹底するとともに、新規規格品購入時には、原則として類似品を廃止することで、費用の節減を図る。					(1) 在庫管理の徹底 薬品・診療材料及び消耗品については、物流管理システムによる在庫管理を徹底するとともに、薬品・診療材料の新規品目採用時には、原則として類似品目を廃止することで、費用の節減を図る。	医薬品・診療材料における物流システム、給食材料における栄養管理システムの活用により重複購入・誤払出防止など適正在庫の実現と在庫圧縮に努めることで費用節減を図ったほか、新規品目採用時は薬事委員会・診療材料委員会で審議の上採択することとし、その際は原則として類似品目を削除するよう努めた。																								
		III					◆ 医薬収益に対する材料費比率 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>12.1%</td> <td>12.1%</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>8.2%</td> <td>8.2%</td> </tr> <tr> <td>給食材料費</td> <td>1.3%</td> <td>1.2%</td> </tr> <tr> <td>材料全体</td> <td>21.6%</td> <td>21.5%</td> </tr> </tbody> </table> ◆ ジェネリック医薬品の採用比率 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>採用比率※</td> <td>21.3%</td> <td>22.7%</td> </tr> </tbody> </table> ※品目ベース		22年度	23年度	薬品費	12.1%	12.1%	診療材料費	8.2%	8.2%	給食材料費	1.3%	1.2%	材料全体	21.6%	21.5%		22年度	23年度	採用比率※	21.3%	22.7%	III		
	22年度	23年度																													
薬品費	12.1%	12.1%																													
診療材料費	8.2%	8.2%																													
給食材料費	1.3%	1.2%																													
材料全体	21.6%	21.5%																													
	22年度	23年度																													
採用比率※	21.3%	22.7%																													
50	(2) 経営意識の向上 経営情報を職員間で共有することで、職員全員の経営意識を向上させ、一層の費用削減に繋げる。					(2) 経営意識の向上 毎月の経営情報を院内グループウェアで提供することで、職員全員の経営意識を向上させ、一層の費用削減に繋げる。	経営概要（業務量、収支状況）を院内の掲示板「サイボウズ」に掲示し、職員の経営意識の向上を図り、日々の業務において改善できることは直ぐに実行し、費用削減に努めた。																								
51	(3) 内部牽制機能の強化 より安価でより効率的な執行に努めるとともに、内部牽制機能を強化することで、安易な執行の抑制を図る。					(3) 内部牽制機能の強化 より安価でより効率的な執行に努めるとともに、内部牽制機能を強化することで、安易な執行の抑制を図る。	物品の請求の際は各部署において責任者（看護部の場合は各セクション責任者から看護部）の承認を受けて請求する等の内部管理体制を徹底した。																								

3 予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画

中期目標	<p>5 財務内容の改善に関する事項</p> <p>5-1 経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、中期目標の期間の最終年度までに経常収支比率100%以上を達成すること。</p> <p>5-2 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院の黒字病院の当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標の期間の最終年度までに達成すること。</p>
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項									
52	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率を100%以上及び職員給与費対医業収益比率を60%以下とすることを旨とする。					<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率を100%以上及び職員給与費対医業収益比率を60%以下とすることを旨とする。</p>	<p>【経常収支比率】 年度計画の設定比率93.3%に対して決算では93.5%でプラス0.2ポイントとなり年度計画を若干上回った。 【職員給与費対医業収益比率】 年度計画における比率71.1%に対し、決算では74.4%で3.3ポイント増加した。H23年度は医師確保のため人件費コストが大きくなっているもの、見合う収益が得られていないことから、比率が年度計画及びH22年度決算よりも高くなっている。 来期以降も経常収支比率100%以上、職員給与費対医業収益比率60%以下を目指して経営努力を続けていく。</p>	II	II										
							<p>経常収支比率・職員給与費対医業収益比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>95.0%</td> <td>93.5%</td> </tr> <tr> <td>職員給与費対医業収益</td> <td>71.4%</td> <td>74.4%</td> </tr> </tbody> </table>			22年度	23年度	経常収支	95.0%	93.5%	職員給与費対医業収益	71.4%	74.4%		
	22年度	23年度																	
経常収支	95.0%	93.5%																	
職員給与費対医業収益	71.4%	74.4%																	

3-1 予算		3-1 予算		3-1 予算に対する実績（予算執行状況）	
区分	金額	区分	金額	区分	金額
収入		収入		収入	
営業収益	24,397	営業収益	4,424	営業収益	4,197
医業収益	20,707	医業収益	3,661	医業収益	3,326
運営費負担金収益	3,626	運営費負担金収益	731	運営費負担金収益	814

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H23 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	その他営業収益	63					その他営業収益	32	その他営業収益	56			
	営業外収益	567					営業外収益	45	営業外収益	48			
	運営費負担金収益	274					運営費負担金収益	29	運営費負担金収益	29			
	その他営業外収益	293					その他営業外収益	16	その他営業外収益	19			
	資本収入	9,072					資本収入	164	資本収入	112			
	長期借入金	6,588					長期借入金	47	長期借入金	36			
	運営費負担金	2,406					運営費負担金	104	運営費負担金	67			
	その他資本収入	78					その他資本収入	13	その他資本収入	9			
	その他の収入	0					その他の収入	0	その他の収入	0			
	計	34,036					計	4,633	計	4,356			
	支出						支出		支出				
	営業費用	22,579					営業費用	4,291	営業費用	4,198			
	医業費用	21,410					医業費用	4,092	医業費用	4,006			
	給与費	12,038					給与費	2,366	給与費	2,408			
	材料費	5,235					材料費	791	材料費	746			
	経費	4,051					経費	913	経費	840			
	研究研修費	86					研究研修費	21	研究研修費	11			
	一般管理費	1,169					一般管理費	200	一般管理費	192			
	給与費	742					給与費	131	給与費	121			
	経費	427					経費	69	経費	71			
	営業外費用	485					営業外費用	51	営業外費用	46			
	資本支出	10,972					資本支出	517	資本支出	434			
	建設改良費	9,999					建設改良費	324	建設改良費	247			
	償還金	969					償還金	191	償還金	187			
	その他資本支出	5					その他資本支出	1	その他資本支出	0			
	その他の支出	6					その他の支出	1	その他の支出	0			
	計	34,041					計	4,861	計	4,677			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																
	<p>(注1) 各項目の数値は、端数をそれぞれ四捨五入している。 そのため、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。 [人件費の見積もり] 期間中の給与費のベースアップ率を0%として試算し、総額12,780百万円を支出する。 上記の額は、法人役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費および退職手当の額に相当するもの。 [運営費負担金の算定ルール] 救急医療等の行政的経費および高度医療等の不採算経費については、地方独立行政法人法第85条第1項の規定により算定された額とする。 建設改良費及び長期借入金等元金償還金に充当される運営費負担金等については、資本助成のための運営費負担金等とする。</p>					<p>(注1) 各項目の数値は、端数をそれぞれ四捨五入している。 そのため、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。 [人件費の見積もり] 年度中総額2,479百万円を支出する。 上記の額は、法人役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費および退職手当の額に相当するもの。 [運営費負担金の算定ルール] 救急医療等の行政的経費および高度医療等の不採算経費については、地方独立行政法人法第85条第1項の規定により算定された額とする。</p>																																																				
	3-2 収支計画					3-2 収支計画	3-2 収支計画に対する実績 (損益計算書)																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益の部</td> <td>24,952</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>24,384</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>20,671</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>3,626</td> </tr> <tr> <td> 資産見返負債戻入</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>3,587</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>558</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収益の部	24,952	営業収益	24,384	医業収益	20,671	運営費負担金収益	3,626	資産見返負債戻入	24	その他営業収益	3,587	営業外収益	558					<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益の部</td> <td>4,467</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>4,423</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>3,654</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>731</td> </tr> <tr> <td> 資産見返負債戻入</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収益の部	4,467	営業収益	4,423	医業収益	3,654	運営費負担金収益	731	資産見返負債戻入	7	その他営業収益	31	営業外収益	45	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益の部</td> <td>4,187</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>4,140</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>3,320</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>757</td> </tr> <tr> <td> 資産見返負債戻入</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	金 額	収益の部	4,187	営業収益	4,140	医業収益	3,320	運営費負担金収益	757	資産見返負債戻入	7	その他営業収益	56	営業外収益	47		
区 分	金 額																																																									
収益の部	24,952																																																									
営業収益	24,384																																																									
医業収益	20,671																																																									
運営費負担金収益	3,626																																																									
資産見返負債戻入	24																																																									
その他営業収益	3,587																																																									
営業外収益	558																																																									
区 分	金 額																																																									
収益の部	4,467																																																									
営業収益	4,423																																																									
医業収益	3,654																																																									
運営費負担金収益	731																																																									
資産見返負債戻入	7																																																									
その他営業収益	31																																																									
営業外収益	45																																																									
区 分	金 額																																																									
収益の部	4,187																																																									
営業収益	4,140																																																									
医業収益	3,320																																																									
運営費負担金収益	757																																																									
資産見返負債戻入	7																																																									
その他営業収益	56																																																									
営業外収益	47																																																									

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H23 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証		
			H22	H23	H24	H25					業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果
	運営費負担金収益	274					運営費負担金収益	29	運営費負担金収益	29			
	その他営業外収益	284					その他営業外収益	16	その他営業外収益	18			
	臨時利益	10					臨時利益	0	臨時利益	0			
	費用の部	25,654					費用の部	4,790	費用の部	4,481			
	営業費用	24,669					営業費用	4,659	営業費用	4,359			
	医業費用	23,349					医業費用	4,424	医業費用	4,132			
	給与費	12,737					給与費	2,514	給与費	2,352			
	材料費	4,991					材料費	754	材料費	715			
	経費	3,906					経費	880	経費	812			
	減価償却費	1,633					減価償却費	255	減価償却費	242			
	研究研修費	82					研究研修費	20	研究研修費	11			
	一般管理費	1,320					一般管理費	236	一般管理費	227			
	給与費	793					給与費	140	給与費	119			
	減価償却費	109					減価償却費	32	減価償却費	34			
	経費	418					経費	64	経費	74			
	営業外費用	948					営業外費用	129	営業外費用	121			
	臨時損失	32					臨時損失	0	臨時損失	1			
	予備費	5					予備費	1	予備費	0			
	純利益	▲ 702					純利益	▲ 322	純利益	▲ 294			
	目的積立金取崩額	0					目的積立金取崩額	0	目的積立金取崩額	0			
	総利益	▲ 702					総利益	▲ 322	総利益	▲ 294			
	<p>(注1) 各項目の数値は、端数をそれぞれ四捨五入している。</p> <p>そのため、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。</p>												
	3-3 資金計画						3-3 資金計画				3-3 資金計画に対する実績		
	区	分					区	分			区	分	金額

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項		
	資金収入	37,182				資金収入	7,666	資金収入	7,735			
	業務活動による収入	24,799				業務活動による収入	4,469	業務活動による収入	4,286			
	診療業務による収入	20,707				診療業務による収入	3,661	診療業務による収入	3,393			
	運営費負担金による収入	3,901				運営費負担金による収入	760	運営費負担金による収入	843			
	その他の業務活動による収入	191				その他の業務活動による収入	48	その他の業務活動による収入	50			
	投資活動による収入	2,484				投資活動による収入	117	投資活動による収入	56			
	運営費負担金による収入	2,406				運営費負担金による収入	104	運営費負担金による収入	18			
	その他の投資活動による収入	78				その他の投資活動による収入	13	その他の投資活動による収入	38			
	財務活動による収入	6,690				財務活動による収入	47	財務活動による収入	85			
	長期借入金による収入	6,588				長期借入金による収入	47	長期借入金による収入	36			
	その他の財務活動による収入	102				その他の財務活動による収入	0	その他の財務活動による収入	49			
	前事業年度からの繰越金	3,209				前事業年度からの繰越金	3,033	前事業年度からの繰越金	3,308			
	資金支出	37,182				資金支出	7,666	資金支出	7,735			
	業務活動による支出	23,062				業務活動による支出	4,343	業務活動による支出	4,197			
	給与費支出	12,779				給与費支出	2,497	給与費支出	2,109			
	材料費支出	5,235				材料費支出	791	材料費支出	748			
	その他の業務活動による支出	5,048				その他の業務活動による支出	1,055	その他の業務活動による支出	1,340			
	投資活動による支出	9,999				投資活動による支出	324	投資活動による支出	277			
	有形固定資産の取得による支出	9,999				有形固定資産の取得による支出	324	有形固定資産の取得による支出	277			
	その他の投資活動による支出	0				その他の投資活動による支出	0	その他の投資活動による支出	0			
	財務活動による支出	969				財務活動による支出	191	財務活動による支出	187			
	長期借入金の返済による支出	0				長期借入金の返済による支出	0	長期借入金の返済による支出	8			
	移行前地方債償還債務の償還による支出	969				移行前地方債償還債務の償還による支出	191	移行前地方債償還債務の償還による支出	179			
	その他の財務活動による支出	0				その他の財務活動による支出	0	その他の財務活動による支出	0			
	翌事業年度への繰越金	3,152				翌事業年度への繰越金	2,808	翌事業年度への繰越金	3,074			
	(注1) 各項目の数値は、端数をそれぞれ四捨五入している。 そのため、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。					(注1) 各項目の数値は、端数をそれぞれ四捨五入している。 そのため、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。						

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
53	4-1 限度額 5億円 4-2 想定される短期借入金の発生理 由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応	-				4-1 限度額 5億円 4-2 想定される短期借入金の発生理 由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応	平成23年度 該当なし	-		

5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
54	なし	-				なし	なし	-		

6 剰余金の使途

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
55	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	-				決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	決算において、剰余金の発生なし	-		

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

8-1 職員の就労環境の向上

中期
目標

6 その他業務運営に関する重要事項

6-1 職員の就労環境の向上

職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。
さらに、地方独立行政法人の制度を十分に活かし、不足している医療従事者（特に医師）を必要な人数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項									
56	<p>(1) 医療従事者の負担軽減対策 医療従事者の業務負担を軽減するため、必要な人数の確保に努めるとともに、時間外勤務の縮減等の勤務環境の改善を図る。また、職員の実情に応じた柔軟な勤務形態導入について検討を行う。</p>					<p>(1) 医療従事者の負担軽減対策 医療従事者の時間外勤務の縮減等の勤務環境の改善を図るため、職員の実情に応じた柔軟な勤務形態導入する。 また、医師の業務負担軽減を図るため、事務作業補助者の活用について検討を行う。 さらに、院内保育需要の増加に対応するため必要保育士数の確保を行うとともに、育児中の女性医師が夜間の診療業務に従事する際には、夜間保育を実施するなどの対策も講じる。</p>	<p>◆医師事務作業補助者の採用による医師の負担軽減 県の補助事業を活用し、新たに2名を養成。24年度からの医師事務作業補助体制加算の対象者として本格的に業務を開始した。業務は前年度に引き続き、診断書の下書き・病名代行人力・着任医師に対する電子カルテ作業説明など担当する業務を徐々に拡大し、医師の勤務環境の負担軽減を図った。</p> <p>◆院内保育所 幼児を持つ病院勤務者が働きやすい環境整備に努めた結果、最大21名の託児を受け入れ保育士5名で保育に当たった。 また、平成23年12月からは、土曜保育を月1回実施し、ニーズの把握に努めた。</p> <p>・院内保育所の運営状況（期末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所児童数</td> <td>24名</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>5名</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table>		22年度	23年度	入所児童数	24名	19名	保育士数	5名	5名			
	22年度	23年度																	
入所児童数	24名	19名																	
保育士数	5名	5名																	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
57	(2) 健康管理対策 職員の身体面だけでなくメンタル面も含めた、心身の健康管理対策を充実する。					(2) 健康管理対策 職員の身体面だけでなくメンタル面も含めた、心身の健康管理対策を充実するため、定期健康診断、特殊健康診断、人間ドック健診を実施するとともに、全職員を対象にした健康管理研修会を開催する。	健康管理対策実施状況 【健康診断関係】 ◆定期健康診断 受診数166人 5月24日～11月2日実施 ◆特殊健康診断(有機溶剤) 受診数4名 10月、3月実施 ◆特殊健康診断(深夜業務・X線) 受診数200人 10月、3月実施 ◆人間ドック 受診数144人 5～2月実施 ※以上常勤職員について記載 【健康管理研修会】 ◆研修会テーマ：「モラルハラスメント ー医療労働者のメンタルヘルス」 開催日：H23年9月22日 18:00～19:00 場所：B棟6階大会議室 出席者：58名 ◆研修会テーマ：「笑いヨガ」 開催日：H23年11月28,29日 18:00～19:00 場所：健康診断棟1階休憩室 出席者：49名		Ⅲ	

8-2 県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項

中期目標 6-2 県及び他の地方独立行政法人との連携
 人事交流など、県及び県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																				
58	医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。					医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。	平成23年度は、当法人のコメディカル（薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技士）の確保、他法人における看護師の確保のため人事交流（出向）を行った。 また、県機関である下呂看護専門学校に専任教員として看護師8名を出向させ、看護師養成において県との連携に努めた。 人事交流の内容は、項目No. 42にも記載。	III																						
						・ 県（下呂看護専門学校）への出向状況 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>8名</td> <td>8名</td> </tr> </tbody> </table>	職種	22年度	23年度	看護師	8名	8名																		
職種	22年度	23年度																												
看護師	8名	8名																												
						・ 他法人への出向状況 ※再掲 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>2名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>助産師(短期)</td> <td>0名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>1名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>1名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5名</td> <td>7名</td> </tr> </tbody> </table>	職種	22年度	23年度	看護師	2名	3名	助産師(短期)	0名	3名	薬剤師	1名	0名	放射線技師	1名	0名	理学療法士	1名	1名	計	5名	7名			
職種	22年度	23年度																												
看護師	2名	3名																												
助産師(短期)	0名	3名																												
薬剤師	1名	0名																												
放射線技師	1名	0名																												
理学療法士	1名	1名																												
計	5名	7名																												
						・ 他法人からの受入状況 ※再掲 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>3名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>4名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>2名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>3名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13名</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table>	職種	22年度	23年度	薬剤師	3名	2名	検査技師	4名	2名	臨床工学技士	1名	1名	理学療法士	2名	0名	作業療法士	3名	0名	計	13名	5名			
職種	22年度	23年度																												
薬剤師	3名	2名																												
検査技師	4名	2名																												
臨床工学技士	1名	1名																												
理学療法士	2名	0名																												
作業療法士	3名	0名																												
計	13名	5名																												

8-3 医療機器・施設整備に関する事項

中期目標	6-3 医療機器・施設整備
	<p>医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に勘案して計画的に実施すること。 新病院建設にあたっては、岐阜県立下呂温泉病院が担うべき機能の強化を図るとともに、診療機能に相応しい施設内容（規模、建設単価等）財源や建替え手法など、建設に必要な検討を十分行ったうえ建設を進めること。</p> <p>○強化すべき岐阜県立下呂温泉病院の機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の教育・研究機能（地域医療研究研修センターの機能） ・へき地医療の提供・支援機能 ・高度急性期医療の提供機能 ・地域災害医療の提供機能 ・終末期医療（入院・在宅）の提供機能 ・医療従事者の確保機能 ・地域医療機関等との連携機能

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項												
59	<p>(1) 医療機器の計画的な更新・整備 医療機器は、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、計画的な更新・整備を実施する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額 (単位: 百万円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器整備</td> <td>1,213</td> <td> 設立団体からの長期借入金等 523 自主財源 690 </td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	予定額 (単位: 百万円)	財源	病院施設、医療機器整備	1,213	設立団体からの長期借入金等 523 自主財源 690	III				<p>(1) 医療機器の計画的な更新・整備 医療機器は、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、計画的な更新・整備を実施する。 また、将来の収支計画に配慮したうえで、必要に応じリース契約の活用も検討する。</p> <p>平成23年度は、地域医療の充実を図るため、国庫補助金制度を活用して、透析用患者監視装置、大動脈内バルーンポンプ等の整備を図る。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額 (単位: 百万円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器整備</td> <td>100</td> <td> 設立団体からの長期借入金等 52 国庫補助金 13 自主財源 35 </td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	予定額 (単位: 百万円)	財源	病院施設、医療機器整備	100	設立団体からの長期借入金等 52 国庫補助金 13 自主財源 35	<p>○計画的な更新・整備 電動リモートコントロールベッドについて、費用対効果や現有機器の現況、また新病院移転に向けての需要見込を勘案した3年間の更新計画を設定し実践した。 ・更新計画：H23～H25計 111台、うちH23は35台：6,715千円</p> <p>○国庫補助金の活用による整備 ・大動脈内バルーンポンプ(1台) 「へき地医療拠点病院施設整備補助金」 整備費：7,192千円(うち補助金7,192千円) ・透析用患者監視装置(2台) 「重難病患者拠点・協力病院整備補助金」 整備費：4,830千円(うち補助金2,026千円)</p>	III		
施設及び設備の内容	予定額 (単位: 百万円)	財源																				
病院施設、医療機器整備	1,213	設立団体からの長期借入金等 523 自主財源 690																				
施設及び設備の内容	予定額 (単位: 百万円)	財源																				
病院施設、医療機器整備	100	設立団体からの長期借入金等 52 国庫補助金 13 自主財源 35																				

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																
60	<p>(2) 新病院建設の施設整備計画 新病院建設に当たっては、法人の運営により建設費の償還が可能となるよう十分留意するとともに、次の点に留意した施設整備計画とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震性能の確保に加え、医療を提供する場としての安全性、機能性及び効率的な運営が可能な部門構成や建築形態 ・患者をはじめ誰もが利用しやすいデザインを基本とし、患者のプライバシーとアメニティの確保や働きやすい職場環境に配慮した建築形態 ・経営上の負担を軽減するため、建設及び維持管理コストの低減、エネルギー部門の変更 ・拡張、将来の医療制度の変更、医療機器更新などに柔軟に対応できる建築形態 <p>また、新病院では特に次の機能を強化する。</p> <p>ア 「地域医療研究研修センター」の拡充</p> <p>イ へき地医療の機能強化</p> <p>ウ 高度急性期医療の機能強化</p> <p>エ 災害対応機能の充実</p> <p>オ 終末期医療（入院・在宅）の実施</p> <p>カ 医療従事者の確保対策</p> <p>キ 地域連携機能の強化</p>	III				<p>(2) 新病院建設の施設整備計画 新病院建設に当たっては、法人の運営により建設費の償還が可能となるよう十分留意するとともに、次の点に留意した施設整備計画とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震性能の確保に加え、医療を提供する場としての安全性、機能性及び効率的な運営が可能な部門構成や建築形態 ・患者をはじめ誰もが利用しやすいデザインを基本とし、患者のプライバシーとアメニティの確保や働きやすい職場環境に配慮した建築形態 ・経営上の負担を軽減するため、建設及び維持管理コストの低減、エネルギー部門の変更・拡張、将来の医療制度の変更、医療機器更新などに柔軟に対応できる建築形態 <p>また、新病院では特に次の機能を強化する。</p> <p>ア 「地域医療研究研修センター」の拡充</p> <p>イ へき地医療の機能強化</p> <p>ウ 高度急性期医療の機能強化</p> <p>エ 災害対応機能の充実</p> <p>オ 終末期医療（入院・在宅）の実施</p> <p>カ 医療従事者の確保対策</p> <p>キ 地域連携機能の強化</p> <p>平成23年度は、実施設計を実施する。</p>	<p>新病院の施設整備計画に則り、平成26年度の開院を目指して実施設計を始めとする調査設計業務を委託実施した。</p> <p>この成果を受けて、総合評価方式による新病院整備建設工事の発注に向けた手続きを進めた。</p> <p>1 実施設計委託業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 H22. 11. 2～H24. 1. 31 ・委託金額 161, 280, 000円 <p>2 医療機器等整備支援コンサルティング委託</p> <p>①・実施期間 H22. 11. 2～H23. 7. 31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託金額 3, 780, 000円 <p>②・実施期間 H23. 8. 1～H24. 3. 31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託金額 3, 780, 000円 	III																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額 (単位: 百万 円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新病院施設、医療機器整備</td> <td>8, 786</td> <td>設立団体からの長期借入金 7, 986 等 自主財源 800</td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	予定額 (単位: 百万 円)	財源	新病院施設、医療機器整備	8, 786	設立団体からの長期借入金 7, 986 等 自主財源 800				<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額 (単位: 百万 円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新病院施設、医療機器整備</td> <td>204</td> <td>設立団体からの長期借入金 196 等 自主財源 8</td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	予定額 (単位: 百万 円)	財源	新病院施設、医療機器整備	204	設立団体からの長期借入金 196 等 自主財源 8	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>実績額 (単位: 百万 円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新病院施設、医療機器整備</td> <td>174</td> <td>設立団体からの長期借入金 169 等 自主財源 5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実施中のものは除く</p>	施設及び設備の内容	実績額 (単位: 百万 円)	財源	新病院施設、医療機器整備	174	設立団体からの長期借入金 169 等 自主財源 5		
施設及び設備の内容	予定額 (単位: 百万 円)	財源																								
新病院施設、医療機器整備	8, 786	設立団体からの長期借入金 7, 986 等 自主財源 800																								
施設及び設備の内容	予定額 (単位: 百万 円)	財源																								
新病院施設、医療機器整備	204	設立団体からの長期借入金 196 等 自主財源 8																								
施設及び設備の内容	実績額 (単位: 百万 円)	財源																								
新病院施設、医療機器整備	174	設立団体からの長期借入金 169 等 自主財源 5																								

8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項

中期目標 6-4 法人が負担する債務の償還に関する事項
 法人は、岐阜県に対し、地方独立行政法人法第66条第1項に規定する地方債のうち、法人成立の日までに償還されていないものに相当する額の債務を負担すること。
 また、その債務の処理を確実にすること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																							
61	法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実にやっていく。 (単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>中期目標 期間償還額</th> <th>次期以降 償還額</th> <th>総債務償 還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>969</td> <td>688</td> <td>1,657</td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td>0</td> <td>458</td> <td>458</td> </tr> <tr> <td>新病院整備事業</td> <td>0</td> <td>6,130</td> <td>6,130</td> </tr> </tbody> </table>	区分	中期目標 期間償還額	次期以降 償還額	総債務償 還額	移行前地方債償還債務	969	688	1,657	長期借入金	0	458	458	新病院整備事業	0	6,130	6,130	III				法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実にやっていく。 法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実にやっていく。	岐阜県に対し負担する債務について、次のとおり償還を行った。 ◆当期の償還状況 移行前地方債償還債務 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期首残高</td> <td>1,162,245,143 円</td> </tr> <tr> <td>当期償還額</td> <td>178,968,753 円</td> </tr> <tr> <td>期末残高</td> <td>983,276,390 円</td> </tr> </tbody> </table> 長期借入金 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期首残高</td> <td>38,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>当期借入額</td> <td>36,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>当期償還額</td> <td>7,600,000 円</td> </tr> <tr> <td>期末残高</td> <td>66,400,000 円</td> </tr> </tbody> </table> ◆年度別の償還状況 移行前地方債償還債務 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年度</td> <td>435 百万</td> <td>435 百万</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>179 百万</td> <td>179 百万</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>112 百万</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>97 百万</td> <td></td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>146 百万</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td>969 百万</td> <td>614 百万</td> </tr> </tbody> </table>		金額	期首残高	1,162,245,143 円	当期償還額	178,968,753 円	期末残高	983,276,390 円		金額	期首残高	38,000,000 円	当期借入額	36,000,000 円	当期償還額	7,600,000 円	期末残高	66,400,000 円	年度	計画	実績	22年度	435 百万	435 百万	23年度	179 百万	179 百万	24年度	112 百万		25年度	97 百万		26年度	146 百万		中期計画期間計	969 百万	614 百万	III		
区分	中期目標 期間償還額	次期以降 償還額	総債務償 還額																																																														
移行前地方債償還債務	969	688	1,657																																																														
長期借入金	0	458	458																																																														
新病院整備事業	0	6,130	6,130																																																														
	金額																																																																
期首残高	1,162,245,143 円																																																																
当期償還額	178,968,753 円																																																																
期末残高	983,276,390 円																																																																
	金額																																																																
期首残高	38,000,000 円																																																																
当期借入額	36,000,000 円																																																																
当期償還額	7,600,000 円																																																																
期末残高	66,400,000 円																																																																
年度	計画	実績																																																															
22年度	435 百万	435 百万																																																															
23年度	179 百万	179 百万																																																															
24年度	112 百万																																																																
25年度	97 百万																																																																
26年度	146 百万																																																																
中期計画期間計	969 百万	614 百万																																																															

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																					
							長期借入金 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年度</td> <td>0 百万</td> <td>0 百万</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>0 百万</td> <td>8 百万</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>0 百万</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>0 百万</td> <td></td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>0 百万</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td>0 百万</td> <td>8 百万</td> </tr> </tbody> </table>	年度	計画	実績	22年度	0 百万	0 百万	23年度	0 百万	8 百万	24年度	0 百万		25年度	0 百万		26年度	0 百万		中期計画期間計	0 百万	8 百万			
年度	計画	実績																													
22年度	0 百万	0 百万																													
23年度	0 百万	8 百万																													
24年度	0 百万																														
25年度	0 百万																														
26年度	0 百万																														
中期計画期間計	0 百万	8 百万																													